

Skyfish

WindowsVista/XP SP2 画面読み上げソフトウェア

FocusTalk Ver 2.0

オンラインマニュアル

このたびは、FocusTalk Ver2.0 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
このマニュアルには、製品の使用方法や機能の説明、ご使用になる際の注意事項や
重要な情報が、詳細に書かれています。FocusTalk を快適にお使いいただくために、
よくお読みください。

特に「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みください。

2007年01月30日	初版 発行
2007年02月09日	第2版 発行
2007年04月06日	第3版 発行
2007年06月15日	第4版 発行
2007年12月14日	第5版 発行
2008年07月11日	第6版 発行
2008年07月16日	第7版 発行

株式会社スカイフィッシュ

目次

第 1 章 安全上のご注意	4
第 2 章 はじめにお読みください	5
1. はじめに	5
2. パッケージ内の同梱物について	5
3. ユーザ認証について	5
4. 本アプリケーションのサポートについて	5
5. 保証について	6
6. お客様の個人情報の取り扱いについて(プライバシーポリシー)	6
7. その他	6
第 3 章 インストール・起動・終了方法について	8
1. はじめに	8
2. FocusTalkを使用する際に必要な動作環境について	8
3. インストールの前に	8
4. FocusTalkのインストール手順	9
5. FocusTalkのアンインストール手順	10
6. FocusTalkの起動・終了	11
7. インストールCD-ROMに同梱しているソフトウェアについて	12
第 4 章 WindowsVista上で読み上げる際の設定事項	13
1. はじめに	13
2. ログオン画面、ユーザーアカウント制御ダイアログの読み上げ手順について	13
第 5 章 FocusTalkの基本設定について	14
1. はじめに	14
2. FocusTalkの起動・終了	14
3. FocusTalk の基本設定について	15
3-1. ファイルメニュー	15
3-2. FocusTalkの設定メニュー	15
3-3. 各種アプリの設定メニュー	15
3-4. ツールメニュー	16
3-5. ヘルプメニュー	16
第 6 章 FocusTalkの設定メニューの詳細について	18
1. 各設定画面共通のボタンについて	18
2. 音声設定	18
3. 読み上げ全般設定	20
4. テキストカーソル移動時の読み設定	24
5. かな漢字変換時の読み設定	25
6. ショートカットキー全般設定	27

7. 辞書設定	27
第 7 章 各種アプリの設定メニューの詳細について	31
1. 各設定画面共通のボタンについて	31
2. Internet Explorer	31
3. Excel	34
4. PowerPoint	35
第 8 章 ツールメニューの詳細について	36
1. テキスト録音	36
2. SkyHelperの起動	37
第 9 章 ショートカットキー一覧表	38
1. はじめに	38
2. FocusTalk用のショートカットキーについて	39
3. Word用ショートカットキーについて	41
4. Excel用ショートカットキーについて	42
5. PowerPoint用ショートカットキーについて	43
6. Adobe Reader用ショートカットキーについて	43
7. Internet Explorer用ショートカットキーについて	44
7-1. IE7.0 全般で使用するショートカットキー	44
7-2. 代替テキストのない画像や罫線を除く全項目に移動するためのショートカットキー	45
7-3. リンク項目を移動するためのショートカットキー	46
7-4. コントロール項目(テキストボックス、コンボボックス、リストボックス、チェックボックス、ボタン、ラジオボタン、画像、水平線)を移動するためのショートカットキー	46
7-5. フレーム間を移動するためのショートカットキー	46
7-6. テーブル間を移動するためのショートカットキー	47
7-7. テーブル内を移動するためのショートカットキー	47
8. Windows Live Messenger用ショートカットキーについて	48
9. Becky! Internet Mail用ショートカットキーについて	48
9-1. ペイン間の簡易移動	48
9-2. メールボックス(フォルダ)状態	48
第 10 章 よくある質問と回答集	50
1. はじめに	50
2. よくある質問と回答集	50
第 11 章 謝辞、著作権・商標について	56
1. 謝辞	56
2. 著作権・商標	56

第1章 安全上のご注意

ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。

FocusTalk およびマニュアルの作成には細心の注意を払っておりますが、万が一、ソフトウェアの欠陥あるいはマニュアルの誤りによってお客様が被った損害について、弊社、販売店、および関係する団体および個人は、一切の責任を負わないものとします。

絵表示について

本製品を安全にお使いいただくための注意事項を、絵表示しています。

その表示を無視し、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区別しています。

内容をご理解の上、本文をお読みください。



注意

誤った取り扱いをしたときに、けがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています

絵表示の意味



この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です



この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です



注意



コンピュータの音声ボリュームは適音でご使用ください。

また、ヘッドホン等を利用される場合、大きな音量で長時間ご使用になられますと耳に悪い影響を及ぼす恐れがございます。



長時間ご使用される場合は、必ず休憩を入れてください。

1時間ごとに15分の休憩を取ってください。



アプリケーションの構造等により、すべての情報を読み上げることができない、あるいは、正確に読み上げない場合がございます。



他の音声読み上げアプリケーションと同時に使用すると、不具合を生じる場合がございますので、FocusTalkを単体でご使用ください。

第 2 章 はじめにお読みください

1. はじめに

本マニュアル(オンラインマニュアル)では、製品のより詳細な機能説明や操作方法についてご説明いたします。

最新のオンラインマニュアルは、株式会社スカイフィッシュ(以下、弊社)の Web サイトからダウンロードすることができます。

ダウンロード URL

<http://www.skyfish.co.jp/FocusTalk/download/index.html>

なお、オンラインマニュアルを含めた FocusTalk のすべてのマニュアルは、Windows ならびに読み上げ対象となるアプリケーションの基本操作をご理解いただいているものとして記載しております。

2. パッケージ内の同梱物について

FocusTalk のパッケージ内に、下記の内容が同梱されていますので、不足や不良がないかご確認ください。

インストール CD-ROM	1 枚
インストールマニュアル	1 冊

同梱物に不足や不良がある場合には、FocusTalk を購入された販売店にお問い合わせください。

3. ユーザ認証について

インストール後、FocusTalk を継続してご使用になるには、ユーザ認証が必要になります。30 日以内にユーザ認証を行ないませんと、下記の機能制限が掛かりますのでご注意ください。

- ・設定した内容がインストール直後の状態に戻ります。
- ・すべての設定の変更ができなくなります。

FocusTalk の全機能を快適にお使いいただくために、早めのユーザ認証をお願いいたします。詳しくは、本マニュアルの「第 3 章 インストール・起動・終了方法について」の「手順 6.ユーザ認証について」をご覧ください。

4. 本アプリケーションのサポートについて

本アプリケーションのサポートにつきましては、FocusTalk を購入された販売店にお問い合わせください。

なお、サポート範囲は本アプリケーションの仕様ならびに操作に限らせていただき、サポート対象者は、購入された方のみとさせていただきます。

ハードウェアを含めたパソコン本体に関する事、Windows ならびに読み上げ対象のアプリケーションに関するご質問はサポートの範囲外とさせていただきますのでご了承ください。

なお、サポートのお問い合わせをされる前にFocusTalkのホームページ

(<http://www.skyfish.co.jp/FocusTalk>)をご確認ください。FAQ集を多数ご紹介しています。

弊社のお問い合わせ先は、下記になります。

お問い合わせをされる際には、お客様の名前、住所、電話番号、ご質問の内容をサポート担当者にお伝えください。

お問い合わせフォーム : <https://www.skyfish.co.jp/focustalk/order/inquiry.html>

メールアドレス : ft-sales@skyfish.co.jp

電話番号 : 050-3535-0939(Focus Talk サポート電話)

サポート時間は 10 時～12 時、13 時～16 時 30 分までとなっております。

(土日、祝祭日、弊社指定休業日除く)

5. 保証について

(1)本アプリケーションの内容が CD-ROM に正しく記録されていなかった場合、購入日を含め 30 日以内に CD-ROM を弊社にご返送いただくことにより、無償で代替品をお送りいたします。**送料は弊社にて負担いたします。**

(2) (1)の保証期間中であっても、お客様の過失および故意による損傷や紛失の場合には保証が適用されません。

(3)本アプリケーションに関する弊社の保証は、以上のみに限定いたします。

6. お客様の個人情報の取り扱いについて(プライバシーポリシー)

弊社では、お客様から得た個人情報を使用目的の範囲内で使用させていただきます。

- ・アプリケーションのバージョンアップや製品情報をメールやダイレクトメールでお知らせする場合
- ・サポートやお問い合わせで、ご本人様確認を行なう場合
- ・バージョンアップしたアプリケーション等をお客様に送付する場合
- ・アプリケーション機能向上等の製品企画の検討を行なう場合
- ・アプリケーションの不正使用や不当な目的で利用する方をお断りする場合

なお、お客様からお問い合わせいただいた情報を、メールや Web サイト等で一般公開させていただく場合がございますが、お客様個人を特定できるような内容を公開することは一切ございません。

7. その他

FocusTalk の著作権者は株式会社スカイフィッシュです。本アプリケーションおよび関連するマニュアル類は、日本国および国際条約による著作権法によって保護されています。本アプリケーションを不正に使用またはコピーする個人および団体は、法律によって罰せられます。また、本アプリケーションの著作権者および販売者は、不正に使用、またはコピーする個人、または団体に対して、法的な手段に訴えることがあります。

FocusTalk Ver2.0 には、テキスト録音機能が付いております。

この機能により録音した音声ファイルは非商用の個人的利用の範囲内でご利用ください。

商用利用をご検討される場合には、弊社にご相談ください。

FocusTalk 本体、同梱物、ならびに各種マニュアルは改良のため予告なしに変更する場合がございます。
変更を行なった場合には、弊社ホームページ上に公開いたします。

本マニュアルならびに各種マニュアルの無断複製を禁止いたします。

本マニュアルならびに各種マニュアルに記載されている製品名は、各社の商標および登録商標です。

Copyright 株式会社スカイフィッシュ

第3章 インストール・起動・終了方法について

1. はじめに

ここでは、FocusTalk のインストールやアンインストール、および起動・終了の方法について説明いたします。

2. FocusTalk を使用する際に必要な動作環境について

FocusTalk をインストールするパソコンが、下記の条件を満たしているかをご確認ください。

パソコン本体	32 ビット版 Windows Vista/XP SP2 以降 (64 ビット版 Windows Vista/XP には、対応していません)
CPU、搭載メモリ	上記 OS の動作要件を満たしていること ※1
HDD	500M バイト以上の空き容量 ※1
その他	WAVE 出力が可能なサウンド機能を有していること
	DVD ドライブまたは、CD-ROM ドライブを有していること

※1 お客様のパソコン環境やインストールされているソフトウェアによっては、上記の動作環境より高い性能が必要になる場合がございます。詳細は、それぞれのアプリケーションの必要動作環境をご確認ください。

3. インストールの前に

インストールを実行する前に、パソコン上で起動している他のアプリケーションを終了してください。インストール CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると、インストールプログラムが自動的に起動します。パソコンによっては、自動起動の設定が無効になっている場合があります。その場合は、(マイ)コンピュータから CD-ROM ドライブを開き、ファイルのリストビュー内に表示されている「install.exe」を実行してください。

なお、インストール開始時に、Windows の種類によりセキュリティ関連のダイアログが表示される場合がありますので、その場合には下記の方法で操作を行なってください。

※Windows Vista 上でインストールを実行した場合【重要】

「ポーン」という警告音と共に、「ユーザーアカウント制御」のダイアログが開き、「キャンセル」と「許可」のボタンが表示される場合があります。この部分は読み上げることができませんので、ここでは、以下の手順で操作してください。

- ・Alt キーを押しながら、A キーを押し(許可の選択)、インストールを続行してください。

※Windows XP SP2 上でインストールを実行した場合

「セキュリティの警告」のダイアログが開く場合があります。

この場合は以下の手順で操作してください。

- ・Alt キーを押しながら、R キーを押し(許可の選択)、インストールを続行してください。

4. FocusTalk のインストール手順

手順 1. インストール選択画面の表示

インストール CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。

※Windows Vista 上でインストールを実行すると、「ユーザーアカウント制御」のダイアログが開きますので、「3. インストールの前に」を参考に「許可」のボタンを選択しインストールを続行してください。

パソコンの画面の中央にインストール選択画面が開き、音声でインストール手順の説明が行なわれます。この説明を最後まで聞くと、自動的に FocusTalk のインストールが開始されますが、すぐにインストールを開始したい場合は、読み上げている途中で Enter キーを押してください。

FocusTalk をインストールせずに終了する場合には、Esc キーを押してください。

手順 2. FocusTalk セットアップウィザードの開始

インストールを開始すると、FocusTalk セットアップウィザードが開きますので、そのまま Enter キーを押して、使用許諾契約書の同意画面へ進んでください。

手順 3. 使用許諾契約書の同意

使用許諾契約書の文面が表示されますので、同意する場合には、Alt キーを押しながら A キーを押し、「同意する」のラジオボタンを選択し、Enter キーを押してください。

※使用許諾契約書の内容は、音声マニュアルにも収録されていますのでご確認ください。音声マニュアルにつきましては、本マニュアルの「第 10 章 よくある質問と回答集」をご覧ください。

手順 4. インストールの開始

インストールが開始されます。そのまましばらくお待ちください。インストール完了すると、FocusTalk が音声でお伝えします。

手順 5. FocusTalk のインストール終了

セットアップウィザードの完了画面が表示されましたら、Enter キーを押してください。

FocusTalk のセットアップウィザードが閉じた後に、FocusTalk が自動的に起動します。

次にユーザ認証の画面が表示されます。

手順 6. ユーザ認証について

インストール後、FocusTalk を継続してご使用になるには、ユーザ認証が必要になります。30 日以内にユーザ認証を行ないませんと、機能制限として設定した内容がインストール直後の状態に戻り、さらにすべての設定の変更ができなくなります。FocusTalk の全機能を快適にお使いいただくために、早めのユーザ認証をお願いいたします。

ご注意: 複数のユーザーアカウントを作成している場合

1 台のパソコンで複数のユーザーアカウントを作成している場合、Windows Vista のセキュリティポリシーに準拠した仕様上、ユーザーアカウント毎にユーザ認証を行なう必要がございます。

なお、ユーザ認証を行なう場合には、お客様の名前、住所、電話番号、メールアドレス(オンライン認証の場合)が必要になります。

FocusTalk のインストールが終了すると、ユーザ認証の画面が表示されますので、以下の方法でユーザ認証(オンライン認証)を行なってください。

なお、インターネットがご利用になれない場合などは、後述の「インターネットがご利用になれない環境でユーザ認証を行なう場合」の方法でユーザ認証を行なってください。

手順 1. ユーザ認証の画面から、「インターネット経由で認証する」のボタンを選択してください。

手順 2. 「名前」、「住所」、「電話番号」、「E-Mail」、「E-Mail (確認用)」、「購入先」の各テキストボックスに情報を入力してください。

手順 3. 入力後、「認証する」のボタンを選択してください。ユーザ認証が終了します。

※インターネットがご利用になれない環境でユーザ認証を行なう場合

手順 1. ユーザ認証の画面から、「オフラインで認証する」のボタンを選択してください。

手順 2. 弊社サポート受付時間内に電話(受付専用電話番号 050-3535-0939)をしていただき、FocusTalk サポート担当者に、お客様の名前、住所、電話番号をお伝えください。

手順 3. サポート担当者が認証用コードをお客様にお伝えしますので、「名前」、「住所」、「電話番号」、「認証コード」の各テキストボックスに情報を入力してください。

手順 4. 入力後、「認証する」のボタンを選択してください。ユーザ認証が終了します。

ご注意: 認証用コードには有効期限(3日間)がございます。

有効期限が過ぎたコードでは認証ができませんので、期間内に認証を行なってください。

認証用コードの有効期限が過ぎてしまった場合には、再度弊社サポート窓口までご連絡ください。

※「後で認証する」のボタンを選択した場合

後でユーザ認証を行なう際には、FocusTalk の設定画面から、「ヘルプ」-「ユーザ認証」を実行してください。ユーザ認証の画面が表示されます。

5. FocusTalk のアンインストール手順

アンインストールは、下記の 2 つから開始することができます。

・「スタート」-「(すべての)プログラム」-「Skyfish」-「FocusTalk」-「アンインストール」を選択

・「コントロールパネル」から、Windows Vista は、「プログラムと機能」、Windows XP SP2 は、「プログラムの追加と削除」を開いて、「FocusTalk 2.0」を選択

実行後、「アンインストールの確認ダイアログ」が表示されます。

アンインストールを行なう場合には、Tab キーを押し、「はい」のボタンにフォーカス移動後、Enter キーを押してください。

アンインストールを中止する場合には、Esc キーを押してください。

6. FocusTalk の起動・終了

ここでは、FocusTalk の起動および終了の方法について説明します。

FocusTalk の詳細な操作方法につきましては、本マニュアルの「**第 6 章 FocusTalk の設定メニューの詳細について**」以降の章ををご確認ください。

●FocusTalk を起動するには

FocusTalk の初期設定では、Windows 起動時、FocusTalk が自動的に起動するように設定されています。FocusTalk を手動で起動する場合には、「スタート」-「(すべての)プログラム」-「Skyfish」-「FocusTalk」-「FocusTalk」を実行するか、下記ショートカットキーを実行してください。

【起動用のショートカットキー】 Ctrl + Shift + F6 キー

【補足】

FocusTalk を起動すると、タスクバーまたはタスクトレイに FocusTalk が追加されます。

初期設定ではタスクバーに追加されますが、FocusTalk の設定画面を開き、「FocusTalk の設定」-「読み上げ全般設定」にある「タスクトレイに格納」のチェックボックスを有効にしますと、タスクトレイに格納されるようになります。

●設定画面を開くには

FocusTalk の設定画面を開くには、Alt + Tab キーを数回押し、FocusTalk と読み上げたところで、キーから手を離してください。タスクトレイに格納している場合、下記ショートカットキーで開くことができます。

【起動用のショートカットキー】Ctrl + Shift + F6 キー (FocusTalk 起動時)

●設定画面を閉じるには

Esc キーを押してください。

●FocusTalk を終了するには

下記の 3 通りの方法があります。

方法 1: Alt + F4 キーを押してください。

方法 2: Alt キーを押し、「ファイル」-「終了」を選択してください。

方法 3: Ctrl + Alt + F6 キーを押してください。

これを実行すると、FocusTalk の終了確認のダイアログが表示されます。「はい」のボタンを選択すると、FocusTalk が終了します。

7. インストール CD-ROM に同梱しているソフトウェアについて

FocusTalk のインストール CD-ROM には、FocusTalk の他に、SkyHelper や Adobe Reader などのソフトウェアが同梱されていますので、必要に応じてインストールを行なってください。

SkyHelper とは

SkyHelper は弊社が開発したフリーソフトウェアです。FocusTalk と連携して Skype を簡単に操作することができます。SkyHelper には、以下の 5 つの特徴があります。

- ・Skype 間の通話や、ビデオ通話。(別途 Web カメラが必要です)
- ・会議機能(最大 10 人までの多人数通話)
- ・チャット機能
- ・ファイル転送機能
- ・独自ショートカットキーを使用して、ログイン状態や通話時間を音声で確認する機能。(この機能は 2007 年 4 月現在 Skype には未実装の機能(SkyHelper の独自機能)です)

ご注意: SkyHelper を使用するために、別途、Skype をインストールする必要がございます。

Adobe Reader とは

Adobe Reader は、PDF ファイルを閲覧するためのソフトウェアです。FocusTalk は、PDF テキストだけでなく、しおり部分やタグ付き PDF フォームなども読み上げることができます。

FocusTalk がインストールされていますと、各ソフトウェアのセットアップウィザード画面を読み上げるようになりますので、上記の同梱ソフトウェアのインストールは、FocusTalk をインストールした後に行なうことをお勧めします。

上記ソフトウェアのインストール手順

手順 1. インストール選択画面の表示

インストール CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れてください。(もし、インストールが開始されない場合やインストール中にセキュリティ関連のダイアログが表示された場合は、この章の「3. インストールの前に」を参考に「install.exe」を実行してください。)

パソコンの画面の中央にインストール選択画面が開き、音声でインストール手順の説明が行なわれます。ここで、Tab キーを何回か押しすると、「SkyHelper のインストール」や「AdobeReader のインストール」のボタンがありますので、インストールしたいソフトウェアを読み上げたところで、Enter キーを押してください。

手順 2. セットアップウィザードの開始

選択したソフトウェアのセットアップウィザードが開始されますので、音声を聞きながらインストールを行なってください。

第 4 章 Windows Vista 上で読み上げる際の設定事項

1. はじめに

ここでは、Windows Vista 上で読み上げる際の設定事項についてご説明します。

設定事項: ログオン画面、ユーザーアカウント制御ダイアログを読み上げる方法

Windows Vista では、Windows および FocusTalk 側であらかじめ設定を行なうと、Windows のログオン画面および、ユーザーアカウント制御のダイアログ(管理メニューなど、管理者権限でのアプリケーションの起動が必要なときに表示されるダイアログ)を読み上げるようになります。

こちらの詳細な設定手順は、「2. ログオン画面、ユーザーアカウント制御ダイアログの読み上げ手順について」をご確認ください。なお、設定後に必ずパソコンの再起動を行なってください。

2. ログオン画面、ユーザーアカウント制御ダイアログの読み上げ手順について

各画面の読み上げる手順については、下記手順になります。

●Windows ログオン画面の音声化の方法

手順 1. スタートメニューを開きます。

手順 2. スタートメニューが開いたら、「(すべての)プログラム」-「Skyfish」-「FocusTalk」-「自動起動設定ツール」を開きます。

手順 3. 「ユーザーアカウント制御」のダイアログが開きますので (このダイアログの内容は読み上げません)、Tab キーを 1 回押して、「許可」のボタンにフォーカスを移動して、Enter キーを押すか、Alt + A キーを押してください。

手順 4. 「自動起動の設定」のダイアログが開きます。(このダイアログの内容は読み上げません)この中に、「ログオン画面で FocusTalk を起動する」のチェックボックスがありますので、スペースキー、または Alt + L キーを押して、チェックを入れた後、Enter キーを押してください。

●「ユーザーアカウント制御」のダイアログの音声化の方法

手順 1. Windows キーを押しながら、U キーを押します。

手順 2. 「コンピュータの簡単操作センター」の画面が表示されたら、Tab キーを数回押して、「コンピュータを画面なしで使用します」にフォーカスを移動し、Enter キーを押します。

手順 3. Tab キーを数回押して、「FocusTalk」のチェックボックスにフォーカスを移動し、スペースキーを押して、チェックを有効にします。

手順 4. Tab キーを押して、「保存」のボタンにフォーカスを移動し、Enter キーを押します。

第 5 章 FocusTalk の基本設定について

1. はじめに

ここでは、FocusTalk の基本動作と設定について説明します。

2. FocusTalk の起動・終了

ここでは、FocusTalk の起動および終了の方法について説明します。

FocusTalk の詳細な操作方法につきましては、本マニュアルの「第 6 章 FocusTalk の設定メニューの詳細について」以降の章ををご確認ください。

●FocusTalk を起動するには

FocusTalk の初期設定では、Windows 起動時、FocusTalk が自動的に起動するように設定されています。FocusTalk を手動で起動する場合には、「スタート」-「(すべての)プログラム」-「Skyfish」-「FocusTalk」-「FocusTalk」を実行するか、下記ショートカットキーを実行してください。

【起動用のショートカットキー】 Ctrl + Shift + F6 キー

【補足】

FocusTalk を起動すると、タスクバーまたはタスクトレイに FocusTalk が追加されます。

初期設定ではタスクバーに追加されますが、FocusTalk の設定画面を開き、「FocusTalk の設定」-「読み上げ全般設定」にある「タスクトレイに格納」のチェックボックスを有効にしますと、タスクトレイに格納されるようになります。

●設定画面を開くには

FocusTalk の設定画面を開くには、Alt + Tab キーを数回押し、FocusTalk と読み上げたところで、キーから手を離してください。タスクトレイに格納している場合、下記ショートカットキーで開くことができます。

【起動用のショートカットキー】Ctrl + Shift + F6 キー (FocusTalk 起動時)

●設定画面を閉じるには

Esc キーを押してください。

●FocusTalk を終了するには

下記の 3 通りの方法があります。

方法 1: FocusTalk が前面にある状態で、Alt + F4 キーを押してください。

方法 2: FocusTalk が前面にある状態で、Alt キーを押し、「ファイル」-「終了」を選択してください。

方法 3: Ctrl + Alt + F6 キーを押してください。

これを実行すると、FocusTalk の終了確認のダイアログが表示されます。「はい」のボタンを選択すると、FocusTalk が終了します。

3. FocusTalk の基本設定について

FocusTalk の設定画面の上部にあるメニューバーは、「ファイル」、「FocusTalk の設定」、「各種アプリの設定」、「ツール」、「ヘルプ」の 5 つのメニューから構成されています。

各メニューの下には、さらに詳細なメニューが表示されます。

3-1. ファイルメニュー

●設定の全体初期化

FocusTalk の設定を初期状態(インストール時の状態)に戻すときに使用します。

ショートカットキーの Ctrl + Alt + F7 キーでも同様の操作ができます。

実行後、「設定を初期値に戻しますか？」の確認ダイアログが表示されます。設定を初期化する場合には、「はい」のボタンを選択してください。

●設定の読み込み

「設定の保存」で保存した設定情報を呼び出すときに実行します。

実行後、「ファイルを開く」のダイアログが開きます。設定を読み込む場合には、保存してあるファイルを選択して開いてください。

●設定の保存

お客様が設定画面で設定した情報を保存するときに実行します。

実行後、「名前を付けて保存」のダイアログが開きますので、設定を保存する場合には、保存先のフォルダを選択して保存してください。

ファイル名の例: FocusTalk_20080704_145030.bak

ファイル名は左から、「FocusTalk」・年月日・時間の順で書き出されます。必要に応じて変更してください。

●終了

FocusTalk を終了するときに実行します。

3-2. FocusTalk の設定メニュー

FocusTalk の詳細設定を行ないます。

詳細につきましては、「第 6 章 FocusTalk の設定メニューの詳細について」を確認してください。

3-3. 各種アプリの設定メニュー

各種アプリ(Internet Explorer7.0(以下、IE7.0 と表記)、Excel、PowerPoint)を使用するための詳細設定を行な

います。

詳細につきましては、「**第 7 章 各種アプリの設定メニューの詳細について**」を確認してください。

3-4. ツールメニュー

テキスト録音機能や、SkyHelper など、ユーティリティの起動を行ないます。

詳細につきましては、「**第 8 章 ツールメニューの詳細について**」を確認してください。

3-5. ヘルプメニュー

●オンラインマニュアル(テキスト)

テキスト版のオンラインマニュアルを表示します。

サブメニューが各章ごとに分かれていますので、ご覧になりたい章を開くことができます。

※内容は、PDF 版オンラインマニュアルと同じものになります。

●オンラインマニュアル(PDF)

PDF 版のオンラインマニュアルを開きます。(本マニュアルです)

【ショートカットキー】F1 キー

●FocusTalk のホームページ

FocusTalk のホームページを表示します。

FocusTalk でホームページの内容を読み上げる場合には、IE7.0 で開く必要がありますので、デフォルトで開くブラウザを IE7.0 に設定してください。

●フィードバックの送信

FocusTalk についてのご意見やご要望、不具合を弊社宛に送信することができます。

フィードバック送信方法

実行後、フィードバックページが表示されます。必要事項(氏名、メールアドレス、ご意見・ご要望・不具合)をご入力の上、「確認画面へ進む」のボタンを選択してください。確認画面が表示されますので、内容をご確認いただき、問題がなければ「送信」ボタンを選択してください。スカイフィッシュにご意見やご要望が送られます。

どのようなことでも結構ですので、FocusTalk をお使いのユーザ様のご意見・ご要望をお寄せ下さい。今後のより良い製品開発のための参考とさせていただきます。

●ユーザ認証

FocusTalk のユーザ認証を行なう場合に実行します。

インストール後、FocusTalk を継続してご使用になるには、ユーザ認証が必要になります。30 日以内にユーザ認証を行なってください。

●バージョン情報

FocusTalk のバージョン情報が表示されます。

●最新バージョンの有無を確認

現在、お使いの FocusTalk のバージョンよりも新しいバージョンがあるかを確認することができます。

新しいバージョンの FocusTalk がある場合には、その旨をお知らせし、FocusTalk のホームページまで移動します。

※ この機能は、インターネットに接続されている環境でのみ使用可能です。インターネット環境に接続されていない環境ではバージョンチェックは行えませんので、その場合にはお手数ではございますが弊社またはご購入先へお問い合わせ下さい。

第 6 章 FocusTalk の設定メニューの詳細について

1. 各設定画面共通のボタンについて

各設定メニューを開いたときに表示される設定ウィンドウには、以下の 3 つのボタンが用意されています。

ボタン 1:「OK」のボタン 設定した内容が反映されます。

ボタン 2:「キャンセル」のボタン 設定した内容が取り消されます。

ボタン 3:「初期設定に戻す」のボタン その設定画面の初期設定が設定されます。

2. 音声設定

●音声設定

・速度

説明: 音声の速度調整になります。

1:最低から 9:最高までの 9 段階の設定が可能です。

1:最低が最も遅く、9:最高が最も速くなります。

ショートカットキー: Ctrl + Alt + 右矢印キー、Ctrl + Alt + 左矢印キー

初期状態:6

・高さ

説明: 音声の高さ調整になります。

1:最低から 5:最高までの、5 段階設定が可能です。

1:最低が最も低く、5:最高が最も高くなります。

初期状態:3

・イントネーション

説明: イントネーション(抑揚)の調整になります。

0:最低から 3:最高までの、4 段階設定が可能です。

0:最低の読み上げは、ロボット(機械)的な読み方になります。3:最高で、最もイントネーションが強くなります。

初期状態:3:最高

・音量

説明: 音声の音量調整になります。

0:最低から、9:最高までの 10 段階の設定が可能です。

0:最低が最も小さく、9:最高が最も大きくなります。

ショートカットキー: Ctrl + Alt + 上矢印キー、Ctrl + Alt + 下矢印キー

初期状態:8

●声質

・種類

説明: 声質の種類を変更する場合に選択します。

種類:【男声】【女声】【女性(喜び)】【女性(怒り)】【女性(悲しい)】【女性(冷たい)】【子供】の7種類から選択できます。

初期状態: 男性

・音質

説明: 音声の品質を変更する場合に選択します。

種類:【リッチ】【ノーマル】【ライト】の3種類から選択できます。

補足: 各品質について

【リッチ】長文読み上げに適した音質重視の音

【ライト】操作性を重視した軽快な音

【ノーマル】その中間の音

感情音声【女性(喜び)】【女性(怒り)】【女性(悲しい)】【女性(冷たい)】について

感情音声選択時の音質設定は、リッチおよびライトのみになります。(ノーマルを選択した場合、ライトの音質になります)

初期状態: リッチ

●特殊効果

・高域強調

説明: 音声の高域部分が強調されます。ご使用になられているスピーカやヘッドホンで音がこもって聞き取りにくいというときにこの機能を使用すると、聞き取りやすくなる場合があります。

初期状態: チェックなし

・倍速モード

説明: 読み上げ速度の倍率を変更できます。

種類:【なし】【2倍速】【3倍速】【4倍速】の4種類から選択できます。

補足: 倍速モードの設定が「なし」の場合、上記ショートカットキーを押すごとに、2倍速、3倍速、4倍速、なしと巡回します。

ショートカットキー: Ctrl + Alt + N キー

初期状態: なし

●出力デバイス設定

・使用するサウンドデバイス

説明: サウンドデバイスが2つ以上ある場合、FocusTalkの音声を、どのデバイスに出力させるかを選択することができます。

補足: 手元の小さいスピーカで FocusTalk の音声を出し、オーディオ用スピーカでメディアプレーヤー

等の音声を再生するといった便利な使い方ができます。

初期状態: デフォルト(コントロールパネルにて設定されているサウンドデバイス)

3. 読み上げ全般設定

●読み上げ詳細設定

・記号の読み上げ

説明: 文章内の句読点や括弧等を読み上げます。

ショートカットキー: Ctrl + Alt +](閉じ角カッコ)キー

初期状態: チェックなし

・連続記号の省略読み

説明: なめらか読みの途中で同じ記号が連続している部分(例えば、メールの署名部分の仕切りでハイフンなどが連続している箇所など)を省略形で読み上げます。

例えば、「=====」というような、イコールが10文字並んでいるところは、「イコールかける10」と読み上げます。

初期状態: チェックなし

・制御コードの読み

説明: タブコードや改行コード等を読み上げます。

初期状態: チェックなし

・URL 記号読み

説明: URL アドレス内にある記号(例: スラッシュ、コロン、ピリオド等)をスペル読みします。

補足: 記号の読み上げのチェックがオフの状態でも機能します。

初期状態: チェックあり

・メールアドレス記号読み

説明: メールアドレス内にある記号(アットマーク、ピリオド、ハイフン、アンダーライン)をスペル読みします。

補足: 記号の読み上げのチェックがオフの状態でも機能します。

初期状態: チェックあり

・URL/メール記号読み設定時、アルファベットをスペル読みする

説明: この設定を有効にすると、URL およびメールアドレスに含まれているアルファベット文字列(英単語)をスペル読み(1文字ずつ区切って読み上げ)します。

初期状態: チェックなし

・日付を推測して読む

説明: 日付と思われる部分を推測して、日付形式で読み上げます。

補足: 「2007-1-30」や「2007/1/30」と数字の間がハイフンやスラッシュで区切られている場合、2007 年 1 月 30 日と読み上げます。

初期状態: チェックあり

・時間を推測して読む

説明: 時間と思われる部分を推測して、時間形式で読み上げます。

補足: 「10:10」と数字の間がコロンで区切られている場合、10 時 10 分と読み上げます。

初期状態: チェックあり

・読み上げカーソル追従(Word,メモ帳で動作:Windows XP にて対応)

説明: 読み上げを中断させた場合に、中断した箇所の手前にある句読点にカーソルが移動します。

補足: 以下の場合に追従します。

・文章をすべて選択してクリップボード読みしている最中に、Shift + Pause キーを押して読みを中断させたとき。

・Shift + 矢印キーで範囲選択された部分を読み上げている最中に、Shift + Pause キーを押して読みを中断させたとき。

ご注意: 文章の内容により、中断した箇所の手前にある句読点にカーソルが移動しない場合がございます。また、読み上げを行なっているときに、別のウィンドウにフォーカスを移動すると、正常に機能しない場合がございます。

初期状態: チェックなし

・パスワード入力の読み上げ

説明: パスワード入力時、キータイプ時の読み上げおよび文字の読み返しを行います。

補足: この設定にチェックが入っていない場合、パスワード文字は「アスタリスク」と読み上げます。

初期状態: チェックなし

・数字の読み方

説明: 数字をどのように読ませるかの設定です。

補足: 各設定の読み上げ例

123-4567 を「自動」で読み上げた場合:

「ヒャクニジュウサン マイナス ヨンセンゴヒャクロクジュウナナ」と読み上げます。

〒123-4567 を「自動」で読み上げた場合:

「ユウビンバンゴウ イチニサン ヨンゴロクナナ」と読み上げます。

123 を「桁読み」に設定して読み上げた場合:

「ヒャクニジュウサン」と数の単位を付加して読み上げます。

123を「棒読み」に設定して読み上げた場合:

「イチニサン」と数字を1桁ずつ読み上げます。

初期状態:自動

●メニューの読み上げ

・アクセラレータを読む

説明:アクセラレータを読み上げます。

アクセラレータとは、メニューバーの「新規(N) Ctrl + N」と表示されている、「(N)」の部分です。

初期状態:チェックあり

・ホットキーを読む

説明:ホットキーを読み上げます。

ホットキーとは、メニューバーの「新規(N) Ctrl + N」と表示されている「Ctrl + N」の部分です。

初期状態:チェックあり

・詳細情報を読む

説明:メニュー項目内に詳細な文字列情報が含まれている場合に、その内容を読み上げます。

例えば、Word2003のメニューの「ファイル」-「開く」の項目には「既存の文書またはテンプレートを開きます」というような説明文が内部で用意されています。

初期状態:チェックあり

●リストビューの読み上げ

・リストビューにて、カラム項目文字も読み上げる

説明:(マイ)コンピュータ等のリストビューとリストビュー上部にあるカラム項目(リストビューのタイトル)を併せて読み上げます。

初期状態:チェックなし

●リッチエディットの読み上げ

・リッチエディット文字属性を読む

説明:ワードパッドの入力画面内で左右矢印キーを押したときに、文字の属性(フォント情報、文字の位置等)を読み上げます。

初期状態:チェックなし

●マウスカーソル位置の読み上げ

・マウスカーソルが当たった場所の情報を読み上げる

説明:マウスカーソル位置の画面内容を読み上げます。

ショートカットキー: Ctrl + Alt + M キー

初期状態:チェックなし

・読み上げ時、コントロールの種類も読む

説明: マウスカーソル位置の画面内容を読み上げ時、種類も一緒に読み上げます。例えば、エディットボックスにマウスカーソルが当たったときには、「○○○のエディット」というように、種類を付け足します。

初期状態: チェックなし

・マウスカーソルのみ読み上げる

説明: マウスカーソルの当たっている位置の情報のみを読み上げます。キーボードで入力した文字や、画面情報が更新された時、読み上げが行われなくなります。

初期状態: チェックなし

・読み上げた箇所を強調表示

説明: 現在マウスカーソルがある位置を、指定色した色の枠で囲んで表示します。

初期状態: チェックなし

・色

説明: マウスカーソル位置を強調表示にした際、枠の色を選択することができます。

種類: 【黄】【青】【赤】【緑】【水色】【ピンク】【灰色】の7種類から選択できます。

初期状態: 黄

・透過率

説明: マウスカーソル位置を強調する際に表示する枠の透過具合を設定することができます。

0%から90%に調節することが可能です。

初期状態: 0%

ご注意: 透過処理というのは少々負荷が高くなる傾向があり、透過率の設定を有効(10%以上)に設定するとパソコンの動作が若干重く感じる場合があります。

●キーボードの読み上げ

・押されたキーを読む

説明: 押したキーの内容を読み上げます。

補足: 押されたキーの種類を把握したい場合に便利です。

ショートカットキー: Ctrl + Alt + K キー

初期状態: チェックなし

・キーボード読み上げ設定時、カーソルキーは読まない

説明: キーボードの読み上げが有効になっているときに、カーソルキーの内容だけを読み上げないようにします。

初期状態: チェックなし

●クリップボードの読み上げ

・クリップボードを読む

説明: 文章を範囲選択して Ctrl + C キーを押したとき、クリップボード読みを行ないます。

ショートカットキー: Ctrl + Alt + [(角カッコ)キー

初期状態: チェックあり

●起動時の設定

・タスクトレイに格納

説明: FocusTalk をタスクトレイに格納します。

補足: チェックがない場合には、タスクバーに FocusTalk が表示されます。

タスクトレイに格納した場合には、Ctrl + Shift + F6 キーで、FocusTalk の設定画面を開くことができます。

初期状態: チェックなし

・音声出力停止状態で起動

説明: FocusTalk が起動したとき、自動的に音声出力が停止した状態 (Alt+Shift+Pause キーを押して音声出力オフにしたときと同じ状態) になります。

補足: この設定が有効の場合、Alt+Shift+Pause での音声停止状態と同じ状態で起動しますので、再度 Alt+Shift+Pause を押すと読み上げが行われるようになります。

初期状態: チェックなし

●フォーカス移動時の読み上げ

・グループ名を付加して読む

説明: ボタンやチェックボックスなどのコントロール類にフォーカスが移動したとき、そのコントロールがグループボックスの中に含まれている場合には、グループボックスのテキスト情報も読み上げるようにします。

初期状態: チェックなし

●その他の読み上げ

・ツールチップ、バルーンヒントを読み上げる

説明: タスクアイコンからメッセージとして表示されるバルーンヒントや、エクスプローラーでファイルにフォーカスを移動して一定時間待つと表示されるツールチップを読み上げます。

マウスカーソルをボタンや画像に合わせた際に表示されるツールチップも読み上げます。

初期状態: チェックあり

4. テキストカーソル移動時の読み設定

●漢字の読み

説明: カーソルを移動させたときに漢字をどのように読ませるかを設定します。

種類: 【詳細読み】【音訓読み】【簡易読み】の 3 種類から選択できます。

ショートカットキー: Ctrl + Alt + ;(セミコロン)キー

初期状態:簡易読み

●非漢字の読み

・フォネティック読み

説明:文字の意味を補って読み上げます。

補足:ひらがなの「う」を読ませた際に、「うさぎ」と読み上げます。

初期状態:チェックなし

・詳細読み

説明:文字を詳細に読み上げます。

補足:全角カタカナの「ス」を読ませた場合は、「全角カタカナ ス」と読み上げます。

半角小文字の「s」を読ませた場合は、「半角小文字 エス」と読み上げます。

ショートカットキー: Ctrl + Alt + / (スラッシュ)キー

初期状態:チェックなし

・全角/半角の区別

・全角カタカナ/ひらがなの区別

・英文字の大文字/小文字の区別

説明:1文字ずつの読み上げを行ったときに、文字の種類により、読み方を変えることができます。

種類:【区別なし】【男女】【高低】の3種類から選択できます。

初期状態:区別なし

●テキストカーソルの読み上げ

・テキストカーソル上下移動時の動作

説明:テキストカーソルを上矢印キーまたは下矢印キーを押したときの読み上げ設定です。

種類:【テキストカーソル位置から行末まで読む】【テキストカーソル位置の1文字だけ読む】【テキストカーソルの行を全て読む】の3種類から選択できます。

初期状態:テキストカーソル位置から行末まで読む

・Delete キー文字削除時の動作

説明:Delete キーを押したときに、削除した文字を読むか、削除後にカーソルのある文字を読むかの設定です。

種類:【削除した文字】【削除後のテキストカーソル位置の文字】の2種類から選択できます。

初期状態:削除した文字

5. かな漢字変換時の読み設定

●かな漢字変換時の読み

説明:漢字変換時に変換された文字の読み方の設定です。

種類:【なめらか読み】【1文字読み】の2種類から選択できます。

補足:「かんじ」と入力後、スペースキーを押して漢字に変換した場合の読み方の例

【なめらか読み】:「かんじ」と読み上げます。

【1文字読み】:「かんじてすと の じ、ろーまじ の じ」と読み上げます。

※上記の読み方は、田町読みで読み上げた場合です

「田町読み」とは、国立特殊教育総合研究所「理解しやすい漢字詳細読み」研究グループ(代表:渡辺哲也様)で開発されました辞書です。

ショートカットキー: Ctrl + Alt + W キー

初期状態:1文字読み

●漢字の読み

説明:漢字変換時に漢字をどのように読ませるかの設定になります。

種類:【詳細読み】【音訓読み】【簡易読み】の3種類から選択できます。

補足:各設定の詳細

【詳細読み】:漢字の意味を読み上げます。

【音訓読み】:漢字の音読みと訓読みを組み合わせで読み上げます。

【簡易読み】:漢字の音読みまたは訓読みで読み上げます。

初期状態:詳細読み

●非漢字の読み

・フォネティック読み

説明:文字の意味を補って読み上げます。

補足:ひらがなの「う」を読ませた際に、「うさぎ」と読み上げます。

初期状態:チェックなし

・詳細読み

説明:文字を詳細に読み上げます。

補足:全角カタカナの「ス」を読ませた場合は、「全角カタカナ ス」と読み上げます。

半角小文字の「s」を読ませた場合は、「半角小文字 エス」と読み上げます。

初期状態:チェックなし

・全角/半角の区別

・全角カタカナ/ひらがなの区別

・英文字の大文字/小文字の区別

説明:1文字ずつ読み上げさせたときに、文字の種類により、読み方を変えるかの設定です。

種類:【区別なし】【男女】【高低】の3種類から選択できます。

初期状態:区別なし

●ローマ字入力モードの読み

説明:ローマ字入力で入力しているときの読み上げ設定です。

種類:【かな + キーエコー】【キーエコーのみ】の 2 種類から選択できます。

補足:【かな + キーエコー】ローマ字に変換された内容を読み上げます。

「さかな」をローマ字入力した場合、「えす、さ、けー、か、えぬ、な」と読み上げます。

【キーエコーのみ】入力した文字のみを読み上げます。

「さかな」をローマ字入力した場合、「えす、えー、けー、えー、えぬ、えー」と読み上げます。

初期状態:かな+キーエコー

6. ショートカットキー全般設定

●Ctrl + Alt 代替キー設定

説明:Ctrl + Alt キーを別のキーに割り当てることができます。

補足:Shift に代替キーを割り当て、回数を 3 回にした場合、Shift キーを 3 回押すと、Ctrl + Alt キーが押された状態と同じになります。

初期状態:コントロールキー、押す回数は 3 回

7. 辞書設定

7-1. なめらか読みユーザ辞書編集

説明:なめらか読みとは、日常会話に近い自然な読み上げを言います。1 行読みやクリップボード読みをさせたときには、なめらか読みで読み上げます。

補足:なめらか読みを行なっているときに、地名や人名等正しく読み上げないことがあります。

正しく読み上げさせる場合には、なめらか読みのユーザ辞書に登録を行なうことにより、正しく読み上げるようになります。

ここで登録した読み方は、FocusTalk の標準辞書よりも優先されます。

なめらか読みのユーザ辞書に登録できる単語は、登録した文字の長さにより増減しますが、最大で約 1 万語のなめらか読み登録が可能です。

●検索

説明:登録語句一覧にある単語や熟語を検索します。

●追加

説明:なめらか読みに語句を登録します。

これを選択すると、「語句」のテキストボックス、「読み」のテキストボックス、「品詞」のコンボボックスの 3 つからなるダイアログボックスが表示されます。

補足:「語句」のテキストボックスには、正しく読ませたい単語や熟語を入力します。

「読み」のテキストボックスには、読みを全角カタカナで入力します。

「品詞」のコンボボックスから、その単語や熟語に適切な品詞を選択します。
入力後、「OK」のボタンを選択すると、登録語句一覧のリストに追加されます。

●編集

説明:登録されている単語や熟語を修正します。

補足:修正を行なう場合、上下矢印キーを押して、登録語句一覧から修正したい文字にカーソルを移動し、このボタンを選択してください。

●削除

説明:登録されている単語や熟語を削除します。

操作:上下矢印キーを押して、登録語句一覧から修正したい文字にカーソルを移動し、「削除」のボタンを選択してください。「削除しますか?」の確認ダイアログが開きますので、削除する場合には、「はい」のボタンを選択し、削除しない場合には、「いいえ」のボタンを選択してください。

●インポート(取り込み)

説明:書き出したユーザ辞書を一括して取り込みます。

操作:「インポート」のボタンを選択してください。「インポートファイルを開く」のダイアログが開きます。読み込みたいユーザ辞書をリストビューから選択し、開くことで、その辞書が読み込まれ、登録語句一覧に追加されます。

●エクスポート(書き出し)

説明:ユーザ辞書に登録されている単語や熟語をテキストファイルに書き出します。

操作:「エクスポート」のボタンを選択してください。「エクスポートファイルを保存」のダイアログが開きます。保存先を選択して保存すると、登録語句一覧にあるユーザ辞書がテキスト形式で書き出されます。

●保存して終了

説明:登録したユーザ辞書を保存して終了します。

●保存せずに終了

説明:登録したユーザ辞書を保存せずに終了します。

●登録語句一覧

説明:ユーザ辞書に登録されている語句のリストが表示されます。

7-2.1 文字読みユーザ辞書編集

説明:1 文字読みとは、同音異義語の漢字を区別するために、漢字の意味の説明を補った読みを付け加えることです。1 文字読みの方法は、詳細読み、簡易読み、音訓読みの 3 つの方法がありますが、この中では主に詳細読みが使用されます。

例えば、山という漢字を田町読み辞書で詳細読みさせたときには「やま、さんみゃくの、さん」と読み上げます

補足:ここでは漢字等の簡易読み、詳細読み、音訓読みをユーザ辞書に登録します。

ここで登録した読み方は、FocusTalk のシステム辞書よりも優先されます。

●検索

説明:登録文字一覧にある文字を検索します。

●追加

説明:簡易読み、詳細読み、音訓読みを登録します。

操作:「追加」のボタンを選択すると、「1文字読み辞書 単語の登録」のダイアログが表示されます。

「単語」のテキストボックス、「簡易読み」のテキストボックス、「詳細読み」のテキストボックス、「音訓読み」のテキストボックスの4つからなるダイアログボックスが表示されますので、それぞれの項目に、文字を入力してください。入力後、「OK」のボタンを選択すると、「登録文字一覧」のリストボックスに追加されます。

補足:各項目の詳細

「単語」のテキストボックスには、漢字等を1文字入力します。

「簡易読み」のテキストボックスには、簡易読みを半角カタカナで入力します。

「詳細読み」のテキストボックスには、詳細読みを半角カタカナで入力します。

「音訓読み」のテキストボックスには、音訓読みを半角カタカナで入力します。

●編集

説明:既に登録されているユーザ辞書の文字を修正します。

操作:修正を行なう場合、登録文字一覧から上下矢印キーを押して修正したい文字にカーソルを移動し、このボタンを選択してください。

●削除

説明:既に登録されているユーザ辞書の文字を削除します。

操作:削除を行なう場合、登録文字一覧から上下矢印キーを押して削除したい文字にカーソルを移動し、このボタンを選択してください。「削除しますか？」のダイアログが表示されますので、削除する場合には、「はい」のボタンを選択し、削除しない場合には、「いいえ」のボタンを選択してください。

●インポート(取り込み)

説明:書き出したユーザ辞書を一括して取り込みます。

操作:「インポート」のボタンを選択してください。「インポートファイルを開く」のダイアログが開きます。読み込みたいユーザ辞書をリストビューから選択し、開くことで、その辞書が読み込まれ、登録語句一覧に追加されます。

●**エクスポート(書き出し)**

説明: ユーザ辞書に登録されている単語や熟語をテキストファイルに書き出します。

操作: 「エクスポート」のボタンを選択してください。「エクスポートファイルを保存」のダイアログが開きます。保存先を選択して保存すると、登録語句一覧にあるユーザ辞書がテキスト形式で書き出されます。

●**保存して終了**

説明: 登録したユーザ辞書を保存して終了します。

●**保存せずに終了**

説明: 登録したユーザ辞書を保存せずに終了します。

●**登録文字一覧**

説明: ユーザ辞書に登録されている語句のリストが表示されます。

7-3.1 文字読みシステム辞書切替

●**使用する辞書**

説明: 1文字読み辞書の切り替えを行いません。

各設定の詳細

「標準」: FocusTalkVer1.0より搭載されている1文字読みのシステム辞書です。

「田町読み」: 国立特殊教育総合研究所「理解しやすい漢字詳細読み」研究グループ(代表: 渡辺哲也様)で開発されました辞書です。

「標準辞書」との違いは、詳細読み(JIS 第一水準、第二水準)の読み方が変わります。

初期状態: 標準

第7章 各種アプリの設定メニューの詳細について

1. 各設定画面共通のボタンについて

各設定メニューを開いたときに表示される設定ウィンドウには、以下の3つのボタンが用意されています。

ボタン 1:「OK」のボタン 設定した内容が反映されます。

ボタン 2:「キャンセル」のボタン 設定した内容が取り消されます。

ボタン 3:「初期設定に戻す」のボタン その設定画面の初期設定が設定されます。

2. Internet Explorer

●基本設定

・キー操作モード

説明:Internet Explorer に割り当てられているショートカットキーを FocusTalk のショートカットキー割り当てに一時的に変更します。

補足:キー操作モードとは?

IE7.0 の内容を読み上げるために「キー操作モード」という方式を採用しています。

これは、IE7.0 にあらかじめ割り当てられているショートカットキーと、FocusTalk がブラウザ内の情報を読み上げるために必要とするショートカットキーが衝突してしまうため(例えば、読み上げ箇所の移動に必要な矢印キーは、IE7.0 では、画面スクロールの設定がされています)、本来のIE7.0のキー操作と FocusTalk がブラウザ内を読み上げるキー操作を明確に分ける必要があり、「キー操作モード」を導入しました。

なお、キー操作モードの違和感を解消するため、機能によっては自動的にオン・オフを切り替えています。

キー操作モードで動作するショートカットキーにつきましては、「第9章 ショートカットキー一覧表」の「Internet Explorer 7.0 用ショートカットキーについて」で詳細を説明しています。

ショートカットキー:Ctrl + Z キー

初期状態:チェックあり

・仮想カーソルの位置も読み上げる

説明:現在どの位置に仮想カーソルがあるかを確認する場合に使用します。

補足:例えば、ブラウザに表示されているテキストやリンク等の項目が全部で、20 箇所あり、10 個目のところに仮想カーソルがある場合に、「20 ぶんの 10」と読み上げます。

ショートカットキー:Ctrl + N キー

初期状態:チェックなし

補足: 仮想カーソルとは？

仮想カーソルとは、ブラウザ内のテキストやリンク項目をキーボード操作により移動した際の、現在のキーボードフォーカスが当たっている箇所をさしています。

必ずしも、現在読み上げている場所とは限りませんので、ご注意ください。

・訪問済みリンクか、未訪問のリンクかを読み上げる

説明: リンク項目に移動した際に、訪問済みか未訪問かを確認する場合に使用します。

補足: 後述する、リンク項目の読み上げの設定で、「リンク項目のみ読む」のラジオボタンが選択されている場合は、読み上げません。設定を無効にしているときに、リンク項目が訪問済みまたは未訪問かを確認したい場合は、Ctrl + Shift + H キーを押しますと確認できます。

初期状態: チェックあり

・ページの読み上げ時、項目の種類を付加して読む

説明: ページ全体の読み上げ時、リンクや画像などといった項目の種類を付加して読み上げます。

初期状態: チェックなし

・ページのダウンロード完了後、全文読みをする

説明: ページのダウンロードが完了したと同時に、ページ内の全てのテキストの読み上げを開始します。

初期状態: チェックあり

・「ページのダウンロード中」メッセージを読み上げる

説明: ページのダウンロード中であることを音声で伝えるために、一定間隔で「ページのダウンロード中」と読み上げるようにします。

初期状態: チェックあり

・見出しタグ情報を付加して読み上げる

説明: 仮想カーソルが見出し項目 (HTML の<H1>~<H6>タグの項目) に移動した際に、「見出し1」から「見出し6」というように、見出しの種類を付加して読み上げます。

初期状態: チェックあり

・リストタグ情報を付加して読み上げる

説明: 仮想カーソルがリスト項目 (HTML のタグの項目) に移動した際に、「リスト項目、5 ぶんの 3」というように、リストの位置を付加して読み上げます。現在、箇条書きになっているテキストの何番目の部分を読み上げているかを把握することができます。

初期状態: チェックあり

・フォントタグ情報を付加して読み上げる

説明: 仮想カーソルがフォント変更されてるテキスト部分に移動した際に、そのフォント情報の種類を付加して読み上げます。具体的には以下のフォント情報を読み上げます。

太字、取り消し線、強調文字、斜体、下線、上付き文字、下付き文字
初期状態:チェックあり

・タグ情報+内容の順番で読み上げる

説明: 見出しタグ、リストタグ、フォントタグなどの読み上げタイミング(前か後か)の切り替えを行うことができます。

初期状態:チェックなし

●スキップ移動読み

・スキップ移動項目数

説明: 左右矢印キーを押して、複数項目スキップさせるときに、そのスキップ数を設定します。
1 から 100 までの 100 段階設定が可能です。

初期状態:10

・スキップ移動時、途中の項目を読み飛ばす

説明: 左右矢印キーを押して、複数項目スキップしたときに、スキップされた項目の読みを省略します。
ショートカットキー:Ctrl + S キー

初期状態:チェックなし

●テキスト移動読み

・移動する項目の文字数 下限値

説明: 設定した文字数以上のテキストがある箇所にジャンプします。

補足: リンク項目等が多いページ等で、目的とするテキスト本文に移動させたい場合に便利な機能です。

初期状態:100(半角 100 文字・全角 50 文字)

●補助機能

・仮想カーソル位置の強調

説明: 現在仮想カーソルのある位置を、指定色にて背景色、または枠で囲んで表示します。

種類:【使用しない】【枠で囲む】【背景色を変更する】の 3 種類から選択できます。

【使用しない】: 仮想カーソルの位置を背景色または枠で囲みません。

【枠で囲む】: 仮想カーソルの位置を四角い枠で囲みます。

【背景色を変更する】: 仮想カーソルの位置の背景を変更します。

初期状態:使用しない

ご注意: ホームページの構造により、主にテキストが表示されている箇所で、背景色(または枠で囲んで)表示される部分が広くなったり、狭くなったりすることがあります。こちらにつきましては、仕様となっています。ご了承ください。

また、FocusTalk を終了した時点で、背景色の表示が残っている場合もございます。

こちら仕様となっておりますので併せてご了承ください。

・色

説明: 強調表示にした際の、背景色または枠の色を選択する場合に使用します。

種類:【黄】【青】【赤】【緑】【水色】【ピンク】【灰色】の7種類から選択できます。

初期状態: 黄

・読み上げた位置にマウスカーソルを移動

説明: 現在仮想カーソルのある位置に、マウスカーソルを追従して移動します。

初期状態: チェックなし

●リンク項目の読み上げ

説明: リンク項目に移動した場合、リンク項目と併せてリンクという読み上げを付加します。

種類:【「リンク」と読んだ後にリンク項目を読む】【リンク項目を呼んだ後に「リンク」と読む】【リンク項目のみ読む】

補足: リンク項目をフォーカストークとした場合で説明します。

【「リンク」と読んだ後にリンク項目を読む】: 「リンク、フォーカストーク」と読み上げます。

【リンク項目を読んだ後に「リンク」と読む】: 「フォーカストーク、リンク」と読み上げます。

【リンク項目のみ読む】: 「フォーカストーク」と読み上げます。

初期状態: リンク項目を読んだ後に「リンク」と読む

3. Excel

●セルの読み上げ設定

説明: セルを読み上げる時の読み上げ方法の設定です。

種類:【内容のみ】【番地のみ】【番地+内容】【内容+番地】の4種類から選択できます。

補足: 番地 A1 のセルに「川」の文字が入力されている場合で説明します。

【内容のみ】: 「かわ」と読み上げます。

【番地のみ】: 「え一、いち」と読み上げます。

【番地+内容】: 「え一、いち、かわ」と読み上げます。

【内容+番地】: 「かわ、え一、いち」と読み上げます。

ショートカットキー: Ctrl + Alt + U キー

初期状態: 番地+内容

●セルにデータが無い時の読み上げ設定

説明: セルにデータが無い(何も書き込まれていない空の状態)時の読み上げ設定です。

種類:【無し】【データ無し】【空白】【む】【ヌル】【ブランク】の6種類から選択できます。

初期状態: 無し

●セルの書式読み上げ項目設定

説明:現在のセル位置の書式属性を読み上げる際に、どの項目を読み上げるか設定します。

操作:セルを読み上げたい位置へ移動し、Ctrl + Alt + P キーを押します。

種類:【フォント】【配置】【罫線】【表示形式】【パターン】【保護】

初期状態:フォント、配置、罫線、表示形式、パターン、保護の6つにチェックあり

●追加読み上げ項目設定

説明:現在のセル内容を読み上げる時、追加で読み上げを行う項目を設定します。

種類:【図形・線・ボタン】【コメント】【数式の有無】の3種類の設定ができます。

【図形・線・ボタン】…セル上に図形・線・ボタンなどのオブジェクトが存在する場合、その種類を読み上げます。

【コメント】…オブジェクト内にコメントが入っている場合には、その内容を読み上げます。

【数式の有無】…セル内に数式がある場合(セル内のデータが数式により算出されたものである場合)、「数式あり」と読み上げます。

初期状態:図形・線・ボタン、コメント、数式の有無、の3つにチェックあり

4. PowerPoint

●スライドショー実行時、ノート部分を読み上げる

説明:PowerPoint でスライドショーを実行したときに、(スライドではなく)ノートの内容を読み上げます。

補足:これにチェックが入っていない場合でも、ショートカットキーを押した時点で表示されているスライドのノート部分を読み上げます。

ショートカットキー:Ctrl + Shift + H キー

初期状態:チェックなし

第 8 章 ツールメニューの詳細について

1. テキスト録音

テキスト録音機能とは、テキストを音声に変換し、ファイルに書き出す機能です。

出力可能なファイル形式は、標準では WAV・WMA での出力が可能で、さらに、指定された MP3 エンコーダをセットアップすることで MP3 での出力が可能です。

出力する音声の声質や速度等は、「FocusTalk の設定」-「音声設定」で設定した内容になります。

【MP3 エンコーダについて】

MP3 での出力機能は、MP3 エンコーダとして LAME を使用しています。

LAME の MP3 エンコーダは LGPL ライセンスに基づいて開発されており、エンコーダ本体を製品と一緒に配布することが出来ないため、お客さまご自身でご用意をして頂く必要がございます。

The LAME Project のサイト : <http://lame.sourceforge.net/index.php>

LAME のエンコーダ DLL である「lame_enc.dll」を、FocusTalk のインストールされているフォルダにコピーすると、「出力ファイルフォーマット」のコンボボックスに「MP3」が追加されます。

Lame_enc.dll の入手方法やご利用に際しては、自己責任においてお願い致します。

(弊社では、LAME ver.3.97 にて動作確認を行っています。)

※LGPL とは GNU Lesser General Public License の略で、オープンソースプログラムライセンスの一つ。

録音手順

手順 1. テキスト録音画面のテキストボックスに、録音するテキスト文章を入力、または貼り付けます。

手順 2. Tab キーを押し、「出力ファイルフォーマット」のコンボボックスにフォーカスを移動し、変換したいファイル形式を選択します。

ここで、「WMA」または「MP3」を選択すると、「音質」のコンボボックスが画面上に追加されます。

Tab キーで「音質」のコンボボックスにフォーカスを移動し、好みの音質を選択します。

※ 選択した音質により、作成されるファイルのサイズが変化します。一般的には音質が良いほど、ファイルサイズは大きくなります。多くの音質を選択できるようになっていますが、合成音声の場合、ビットレートは 128kbps 前後で十分な音質が得られ、かつ、サイズは WAV 形式と比較してもかなり小さくなります。

手順 3. Tab キーを押し、「録音」のボタンにフォーカスを移動し、Enter キーを押します。

手順 4. 「録音ファイル名の指定」のダイアログが開きますので、「ファイル名」のテキストボックスに保存ファイル名を入力してください。また、必要に応じて、「保存する場所」のコンボボックスに移動して保存先のフォルダ(デスクトップやマイドキュメント等)指定してください。

手順 5. Tab キーを押して、「保存」のボタンに移動し、Enter キーを押します。

手順 6. 録音が完了すると、「録音完了」のダイアログが表示され、保存先のフォルダに指定したファイル名で出力されます。

なお、出力するテキスト内容が大きい場合、「ファイル生成中」というダイアログが表示されます。
もし、出力中に処理を中断したい場合には、Enter キーを押してください。

ご注意:この機能により録音した音声ファイルは非商用の個人的利用の範囲内でご利用ください。

商用利用をご検討される場合には、弊社にご相談ください。

WAV ファイルは特性上、MP3 ファイルや WMA ファイルと比べファイルサイズが大きくなります。

ファイルサイズの上限について、仕様上は、ハードディスクの空き容量が許す限り、作成することが可能ですが、ファイルサイズが大きくなると、再生ソフトウェアによっては、再生ができない場合がありますのでご注意ください。

2. SkyHelper の起動

Skype の操作支援ソフトの SkyHelper を起動します。

なお、SkyHelper を使用するには、Skype が別途必要になります。

SkyHelper がインストールされていない場合、「SkyHelper がインストールされていません。SkyHelper のダウンロードサイトを表示しますか?」のダイアログが表示されます。

「はい」を選択すると、SkyHelper のダウンロードのページに移動します。

なお、SkyHelper は、本インストール CD-ROM にも同梱されています。

補足:Skype のインストール方法など

弊社ホームページで、Skype ならびに SkyHelper のインストール方法の詳細を掲載しております。

詳細は、上記、SkyHelper のダウンロードページにてご確認ください。

第9章 ショートカットキー一覧表

1. はじめに

ここでは、FocusTalk を使用して、アプリケーションを読み上げる際に使用する独自ショートカットキーを紹介します。

ここで紹介されていない FocusTalk が音声化対応しているアプリケーション(例: Office2007、Adobe Reader、Windows Media Player 等)は、基本的に各アプリケーションのショートカットキーに対応しています。

なお、読み上げる対象となる各アプリケーションの操作方法等は、それぞれのアプリケーションのマニュアル等をご参照ください。

ご注意:ソフトウェアの構造等により、すべての情報を読み上げることができない場合がございます。

補足:FocusTalk で音声化対応しているアプリケーションにつきましては、FocusTalk の製品情報のホームページをご確認ください。

※ショートカットキーの使用方法について

それぞれのアプリケーション上で割り当てている FocusTalk のショートカットキーにつきましては、そのアプリケーションが選択されている状態で使用してください。

2. FocusTalk 用のショートカットキーについて

下記のショートカットキーは、FocusTalk(自身)の操作用のショートカットキーです。

原則として、デスクトップにフォーカスがある場合に使用してください。他に起動しているアプリケーション上で使用すると、そのアプリケーションのショートカットキーが優先されることがあります。

FocusTalk 起動終了の操作

操作	ショートカットキー
(FocusTalk が起動していないとき)FocusTalk の起動	Ctrl + Shift + F6 キー
(FocusTalk が起動しているとき)FocusTalk の設定画面表示	
FocusTalk の終了	Ctrl + Alt + F6 キー
FocusTalk のすべての設定を初期値に戻す	Ctrl + Alt + F7 キー
オンラインマニュアルの表示(FocusTalk の設定画面にフォーカスがある場合に有効)	F1 キー

FocusTalk 音声設定の操作

操作	ショートカットキー
読み上げの一時停止・解除	Shift + Pause キー
音声出力のオン・オフ切り替え	Alt + Shift + Pause キー
読み上げの中断	Ctrl キー または Ctrl + Pause キー
読み上げ速度を速くする	Ctrl + Alt + 右矢印キー
読み上げ速度を遅くする	Ctrl + Alt + 左矢印キー
音量を上げる	Ctrl + Alt + 上矢印キー
音量を下げる	Ctrl + Alt + 下矢印キー
直前に読み上げた内容の再読み上げ	Ctrl + Alt + R キー
直前に読み上げた文字を左に 1 文字ずつ読み上げ	Ctrl + Alt + Shift + 左矢印キー
直前に読み上げた文字を右に 1 文字ずつ読み上げ	Ctrl + Alt + Shift + 右矢印キー
直前に読み上げた文字の 1 文字読みで現在位置の文字を詳細読み	Ctrl + Alt + Shift + 上矢印キー
倍速モードの切り替え(なし、2 倍速、3 倍速、4 倍速)	Ctrl + Alt + N キー

Windows の操作

操作	ショートカットキー
現在フォーカスのあるウィンドウタイトルバーの読み上げ	Ctrl + Alt + A キー
現在起動しているタスク数の読み上げ	Ctrl + Alt + B キー
現在起動しているすべてのタスクウィンドウタイトルの読み上げ	Ctrl + Alt + C キー
テキストボックス内カーソル右側の文字の詳細読み	Ctrl + Alt + H キー
テキストボックス内カーソル右側の文字のフォネティック読み(漢字の)	Ctrl + Alt + G キー

操作	ショートカットキー
場合は、音訓読み)	
テキストボックスの行頭からカーソル位置まで読み上げ	Ctrl + Shift + Q キー
テキストボックスのカーソル位置から行末まで読み上げ	Ctrl + Shift + L キー
テキストボックスのカーソル行の 1 行読み	Ctrl + Shift + K キー
テキストボックス内、簡易、音訓、詳細読み上げの切り替え(漢字)	Ctrl + Alt + ;(セミコロン)キー
テキストボックス内、簡易、音訓、詳細読み上げの切り替え(非漢字)	Ctrl + Alt + /(スラッシュ)キー
テキストボックスのテキストカーソル位置読み上げ	Ctrl + Alt + O キー
クリップボード読み上げのオン・オフ切り替え	Ctrl + Alt + [(角カッコ)キー
記号読み上げのオン・オフ切り替え	Ctrl + Alt +](閉じ角カッコ)キー
現在の日付と時間の読み上げ	Ctrl + Alt + J キー
MS-IME のオン・オフ状態の読み上げ	Ctrl + Alt + :(コロン)キー
MS-IME 変換時、1 文字読み/なめらか読みの切り替え	Ctrl + Alt + W キー
マウスカーソルの位置を座標形式で読み上げ	Ctrl + Alt + X キー
キーボード操作読み上げのオン・オフ切り替え	Ctrl + Alt + K キー
フォーカスのある部品内の状態(リスト項目数、テキストボックス内の文字数)を読み上げ	Ctrl + Alt + L キー
マウスカーソルのある位置の読み上げのオン・オフ切り替え	Ctrl + Alt + M キー
デスクトップ上のアイコンの数を読み上げ	Ctrl + Alt + Y キー
フォーカスのあるダイアログボックス内に表示されている、スタティックテキストをすべて読み上げる	Ctrl + Alt + Q キー
フォーカスを持っているウィンドウまたは部品の座標位置と大きさ(幅と高さ)を読み上げ	Ctrl + Alt + Shift + T キー
ゴミ箱の中にあるファイル数の読み上げ	Ctrl + Alt + Shift + Delete キー
画面テキスト読み上げモードの切り替え(オン/オフ)	Ctrl + Alt + F9 キー
画面テキスト読み上げモードがオンの時、フォーカスのあるダイアログボックス内に表示されている、スタティックテキストやボタン等を上方方向に読み上げ	Ctrl + 上矢印キー
画面テキスト読み上げモードがオンの時、フォーカスのあるダイアログボックス内に表示されている、スタティックテキストやボタン等を下方方向に読み上げ	Ctrl + 下矢印キー
マウスの左クリックの動作	Ctrl + 上下矢印キーで移動したところで、Ctrl+左 Windows ロゴキー
マウスのダブルクリックの動作	Ctrl + 上下矢印キーで移動したところで、Ctrl + 左 Windows ロゴキーを素早く 2 回押す
マウスの右クリックの動作	Ctrl + 上下矢印キーで移動したところで、Ctrl+右 Windows ロゴキー

3. Word 用ショートカットキーについて

下記のショートカットキーは、Word 操作用のショートカットキーです。

操作	ショートカットキー
現在のキー状態(上書き・挿入、キャプスロックのオン・オフ状態、ナムロックのオン・オフ状態)を読み上げます。	Ctrl + Shift + A キー
文章情報(総文字数、総段落数、句点単位の文章数)の読み上げ	Ctrl + Shift + W キー

下記のショートカットキーは、現在カーソルのある位置を基準とした動作となります。

操作	ショートカットキー
1 行読み上げ	Ctrl + Shift + K キー
行頭からカーソル位置までの読み上げ	Ctrl + Shift + Q キー
カーソル位置から行末までの読み上げ	Ctrl + Shift + L キー
1 つ上の行の読み上げ	Ctrl + Shift + I キー
1 つ下の行の読み上げ	Ctrl + Shift + Y キー
文章の改行単位(段落行)での読み上げ	Ctrl + Shift + U キー
カーソル右側の文字の詳細読み	Ctrl + Alt + H キー
カーソル右側の文字のフォネティック読み	Ctrl + Alt + G キー
カーソル右側の文字属性(フォント情報、文字の大きさ等)の読み上げ	Ctrl + Alt + ^ (べき乗) キー
文章内の変更履歴情報の読み上げ 範囲選択をしている場合: 範囲内の変更履歴を全て読み上げ 範囲選択をしていない場合: 現在の位置から下方向に最も近い履歴に移動し読み上げ	Ctrl + Shift + R
文章内の変更履歴情報の読み上げ 範囲選択をしている場合: 範囲内の変更履歴を全て読み上げ 範囲選択をしていない場合: 現在の位置から上方向に最も近い履歴に移動し読み上げ	Ctrl + Alt + Shift + R
文章内のコメント情報の読み上げ 範囲選択をしている場合: 範囲内のコメントを全て読み上げ 範囲選択をしていない場合: 現在の位置から下方向に最も近いコメントに移動し読み上げ	Ctrl + Shift + C
文章内のコメント情報の読み上げ 範囲選択をしている場合: 範囲内のコメントを全て読み上げ 範囲選択をしていない場合: 現在の位置から上方向の最も近いコメントに移動し読み上げ	Ctrl + Alt + Shift + C
カーソル位置のページ番号と位置(行・桁)の読み上げ	Ctrl + Alt + @ (アットマーク) キー

4. Excel 用ショートカットキーについて

下記のショートカットキーは、Excel 操作用のショートカットキーです。

操作	ショートカットキー
現在のセル位置を登録	Ctrl + Alt + I キー
Alt + Ctrl + I キーで登録したセル位置へ移動	Ctrl + Alt + O キー
現在開いているワークシート名読み上げ	Ctrl + Alt + S キー
データの入っている最大セル番地、及びオブジェクト数の読み上げ	Ctrl + Shift + A キー
オブジェクト順次読み上げ(次のオブジェクト)	Ctrl + Shift + N キー
オブジェクト順次読み上げ(前のオブジェクト)	Ctrl + Shift + B キー
カーソル移動時の番地やセル内容の読み上げ方、番地のみ、セル内容のみ、番地とセル内容、セル内容と番地、の切り替え	Ctrl + Alt + U キー

下記のショートカットキーは、現在カーソルのあるセル位置を基準とした読み上げです。

操作	ショートカットキー
セル内容の読み上げ	Ctrl + Shift + K キー
1つ上のセル内容の読み上げ	Ctrl + Shift + I キー
1つ下のセル内容の読み上げ	Ctrl + Shift + M キー
1つ左のセル内容の読み上げ	Ctrl + Shift + J キー
1つ右のセル内容の読み上げ	Ctrl + Shift + L キー
セルの書式設定読み上げ	Ctrl + Alt + P キー

下記のショートカットキーは、空白セルが 50 個以上続いた場合、最後にデータの入っているセルを終端と見なしています。

操作	ショートカットキー
右側のセル内容を順次読み上げ	Ctrl + Shift + Y キー
下側のセル内容を順次読み上げ	Ctrl + Shift + Z キー
カーソル位置の行のセル内容を先頭から読み上げ	Ctrl + Alt + Shift + Y キー
カーソル位置の列のセル内容を先頭から読み上げ	Ctrl + Alt + Shift + Z キー

下記のショートカットキーは、表の行および列項目を読み上げるときに使用します。

操作	ショートカットキー
行列ヘッダ読み上げ設定の切り替え(なし/列のみ/行のみ/行列)	Ctrl + Shift + G キー
ヘッダ位置登録	Ctrl + Shift + F7 キー
登録した列の項目読み上げ	Ctrl + Shift + F8 キー
登録した行の項目読み上げ	Ctrl + Shift + F9 キー
行ヘッダヘジャンプ	Ctrl + Shift + C キー

操作	ショートカットキー
列ヘッダへジャンプ	Ctrl + Shift + R キー
登録したヘッダ位置の削除	Ctrl + Shift + F11 キー

5. PowerPoint 用ショートカットキーについて

下記のショートカットキーは、PowerPoint 操作用のショートカットキーです。

スライド編集画面で使用できるショートカットキー

操作	ショートカットキー
スライド編集画面内の先頭の項目にフォーカス移動	Ctrl + Alt + Home キー
スライド編集画面内の最後の項目にフォーカス移動	Ctrl + Alt + End キー
スライドのページ番号と、スライド内の内容を読み上げ	Ctrl + Alt + P キー
現在フォーカスを持っているオブジェクトの内容を読み上げ	Ctrl + Shift + N キー
作成したスライドのページ数を読み上げ	Ctrl + Shift + K キー
現在のスライドページのノート読み上げ	Ctrl + Shift + H キー

ご注意: ノート部分は仕様上、1 行読みができませんので、メモ帳等で文章を作成し貼り付けていただくようお願いいたします。

スライドショーで使用できるショートカットキー

操作	ショートカットキー
スライドショーを実行してからの経過時間読み上げ	Ctrl + Alt + T キー
現在のスライドページの再読み上げ	Ctrl + Shift + R キー
作成したスライドのページ数を読み上げ	Ctrl + Shift + K キー
現在のスライドページのノート読み上げ	Ctrl + Shift + H キー

6. Adobe Reader 用ショートカットキーについて

下記のショートカットキーは、Adobe Reader (6.0~9.0) 操作用のショートカットキーです。

ご注意: PDF の読み上げに際して、「テキストウィンドウの表示」という方式を採用しています。

このウィンドウは、PDF 文章の中からテキスト部分を取り出して表示させたもので、このウィンドウ内では、自由にカーソルを移動させることができます。

これにより、PDF ドキュメントをメモ帳や Word と同じようにカーソル操作で行単位、文字単位で細かく読み上げることができます。

操作	ショートカットキー
PDF テキスト情報ウィンドウを表示	Ctrl + Alt + V キー
PDF の総ページ数と現在表示しているページ数の読み上げ	Ctrl + Alt + Z キー

7. Internet Explorer 用ショートカットキーについて

下記のショートカットキーは、Internet Explorer 7.0 または 6.0(以下、IE と表記)操作用のショートカットキーです。

キー操作モードについて

IE の内容を読み上げるために「キー操作モード」という方式を採用しています。

これは、IE にあらかじめ割り当てられているショートカットキーと、FocusTalk がページ内の情報を読み上げるために必要とするショートカットキーが衝突してしまうため(例えば、読み上げ箇所の移動に必要な 矢印キーは、IE では、画面スクロールの設定がされています)、本来の IE のキー操作と FocusTalk がページ内を読み上げるキー操作を明確に分ける必要があり、「キー操作モード」を導入しました。

このキー操作モードをオンにすることにより、IE のキー操作を FocusTalk のキー操作に切り替え、以下のショートカットキー操作でページ内の情報を読み上げます。

なお、キー操作モードの違和感を解消するため、機能によっては自動的にオン・オフを切り替えています。

仮想カーソルについて

仮想カーソルとは、ブラウザ内のテキストやリンク項目をキーボード操作により移動した際の、現在のキーボードフォーカスが当たっている箇所をさしています。

必ずしも、現在読み上げている場所とは限りませんので、ご注意ください。

7-1. IE7.0 全般で使用するショートカットキー

操作	ショートカットキー
キー操作モードのオン・オフ切り替え	Ctrl + Z キー

以下のショートカットキーはキー操作モードがオンとなっている状態で操作が可能となります。また、仮想カーソル位置を基準にした読み上げ操作になります。

操作	ショートカットキー
現在のページにある総項目数と現在の仮想カーソル位置の項目数 読み上げ切り替え	Ctrl + N キー
スキップ移動のとき、途中の項目の読む・読まないを切り替え	Ctrl + S キー
ページの先頭から仮想カーソル位置までの読み上げ	Alt + 上矢印キー
仮想カーソル位置からページの末尾までの読み上げ	Alt + 下矢印キー
現在のページ内の構造を FocusTalk で再度解析後、先頭項目から 順次読み上げ	Ctrl + Shift + Z キー

操作	ショートカットキー
Flash の表示内容が更新されたと同時に、FocusTalk で読み上げる情報を自動的に更新するかのオン・オフ切り替え	Ctrl + Shift + U キー
仮想カーソル位置のテキストをクリップボードにコピー	Ctrl + Shift + C キー
現在の仮想カーソル位置を登録	Ctrl + Alt + I キー
仮想カーソルを登録した場所へ移動	Ctrl + Alt + O キー
登録した位置から現在の仮想カーソル位置までの範囲のテキストをクリップボードにコピー	Ctrl + Shift + O キー
仮想カーソル位置の文字を左に 1 文字ずつ読み上げ	Ctrl + Alt + Shift + 左矢印キー
仮想カーソル位置の文字を右に 1 文字ずつ読み上げ	Ctrl + Alt + Shift + 右矢印キー

7-2. 代替テキストのない画像や罫線を除く全項目に移動するためのショートカットキー

操作	ショートカットキー
1 つ上の項目に移動	上矢印キー
1 つ下の項目に移動	下矢印キー
スキップ移動項目数だけ、上に移動	左矢印キー
スキップ移動項目数だけ、下に移動	右矢印キー
ページの先頭項目へ移動	Home キー
ページの末尾項目へ移動	End キー
異なる属性項目へジャンプ(上)	Alt + Shift + 上矢印キー
異なる属性項目へジャンプ(下)	Alt + Shift + 下矢印キー
見出し項目へジャンプ(上)	PageUp キー
見出し項目へジャンプ(下)	PageDown キー
テキスト項目へジャンプ(上)	Ctrl + Shift + 左矢印キー
テキスト項目へジャンプ(下)	Ctrl + Shift + 右矢印キー
テキスト移動読みで設定した文字数以上のテキストに前方移動	Ctrl + Alt + F10 キー
テキスト移動読みで設定した文字数以上のテキストに後方移動	Ctrl + Alt + F9 キー
検索キーワードに検索文字入力後、該当するキーワードがあった場合、その位置に仮想カーソルを前方移動	Ctrl + Alt + F12 キー
上記で入力したキーワードで、前方方向に連続キーワード検索	Ctrl + Alt + Shift + F12 キー
検索キーワードに検索文字入力後、該当するキーワードがあった場合、その位置に仮想カーソルを後方移動	Ctrl + Alt + F11 キー
上記で入力したキーワードで、後方方向に連続キーワード検索	Ctrl + Alt + Shift + F11 キー

7-3. リンク項目を移動するためのショートカットキー

操作	ショートカットキー
1つ上のリンク項目に移動	Shift + 上矢印キー
1つ下のリンク項目に移動	Shift + 下矢印キー
複数個リンク項目上に移動	Shift + 左矢印キー
複数個リンク項目下に移動	Shift + 右矢印キー
ページの先頭のリンク項目へ移動	Shift + Home キー
ページの末尾のリンク項目へ移動	Shift + End キー
リンクの URL スペル読み上げ	Ctrl + U キー
訪問済みのリンクか、未訪問のリンクかの読み上げ	Ctrl + Shift + H キー

7-4. コントロール項目(テキストボックス、コンボボックス、リストボックス、チェックボックス、ボタン、ラジオボタン、画像、水平線)を移動するためのショートカットキー

※テキストボックスをマウスでクリックした場合の動作について

キー操作モードがオン有的时候に、検索エンジンで表示されているテキストボックスをマウスでクリックした場合、キー操作モードが一時的にオフになり、テキストボックス内に直接入力することができます。その状態から Tab キー等で別の項目に移動したときに、再びキー操作モードがオンになります。

(マウス操作を中心に使用されている方でも、普段の操作と違和感なく操作ができるようにしています。)

ただし、テキストボックス内に直接文字を入力するときの読みの場合、入力後の読み返しは、IE7.0 の仕様で行なうことができませんので、予めご了承ください。

操作	ショートカットキー
1つ上のコントロール項目に移動	Ctrl + 上矢印キー
1つ下のコントロール項目に移動	Ctrl + 下矢印キー
スキップ移動項目数、コントロール項目上に移動	Ctrl + 左矢印キー
スキップ移動項目数、コントロール項目下に移動	Ctrl + 右矢印キー
ページの先頭のコントロール項目へ移動	Ctrl + Home キー
ページの末尾のコントロール項目へ移動	Ctrl + End キー

7-5. フレーム間を移動するためのショートカットキー

操作	ショートカットキー
1つ前のフレームの先頭に移動	Ctrl + Shift + 上矢印キー
1つ次のフレームの先頭に移動	Ctrl + Shift + 下矢印キー

7-6. テーブル間を移動するためのショートカットキー

操作	ショートカットキー
1つ前のテーブルへ移動	Alt + Shift + T キー
1つ次のテーブルへ移動	Alt + T キー

7-7. テーブル内を移動するためのショートカットキー

操作	ショートカットキー
テーブル読み上げの切り替え	Ctrl + T キー

テーブル内に仮想カーソルがある状態で、Ctrl + T キーを押して、テーブル読み上げ機能が有効になっている場合、下記の操作が可能になります。

操作	ショートカットキー
1つ上のセルへ移動	上矢印キー
1つ下のセルへ移動	下矢印キー
1つ左のセルへ移動	左矢印キー
1つ右のセルへ移動	右矢印キー
行の先頭のセルへ移動	Home キー
行の末尾のセルへ移動	End キー
先頭行のセルへ移動	Ctrl + 上矢印キー
末尾行のセルへ移動	Ctrl + 下矢印キー
1番左上のセルへ移動	Ctrl + Home キー
1番右下のセルへ移動	Ctrl + End キー
セル内容を読み上げ	Ctrl + K キー
セル位置を登録	Ctrl + Alt + I キー
(Alt + Ctrl + I キーで)登録したセル位置へ移動	Ctrl + Alt + O キー
テーブル全体の内容読み上げ	Ctrl + Shift + A キー
セル内容をクリップボードにコピー	Ctrl + Shift + C キー

8. Windows Live Messenger 用ショートカットキーについて

ご注意:Windows Live Messenger は仕様により、インスタントメッセージ(チャット)入力部分やサインイン時のメールアドレス入力エディットボックス等で、入力した文字の読み返しが行えない等の機能制限ありますのでご注意ください。

下記のショートカットキーは、Windows Live Messenger 操作用のショートカットキーです。

操作	ショートカットキー
1つ前のメッセージ履歴読み上げ	Ctrl + Alt + PageUp キー
1つ後のメッセージ履歴読み上げ	Ctrl + Alt + PageDown キー

9. Becky! Internet Mail 用ショートカットキーについて

Becky! Internet Mail はシェアウェア(有料)のメールソフトです。

FocusTalk で Becky! Internet Mail を音声化するには、プラグインをインストールする必要があります。

プラグインのインストール方法の詳細につきましては、インストール CD-ROM 内の、「Becky!音声化プラグイン」フォルダ内のマニュアルをご確認ください。

下記のショートカットキーは、Becky! Internet Mail 操作用のショートカットキーです。

9-1. ペイン間の簡易移動

操作	ショートカットキー
メールボックスツリーペインに移動	Ctrl + F2 キー
メール一覧リストペインに移動	Ctrl + F3 キー
メール本文ビューペインに移動(代替エディタ機能が有効の場合)	Ctrl + F4 キー
添付ファイルリストペインに移動(メールにファイルが添付されている場合)	Ctrl + F5 キー

9-2. メールボックス(フォルダ)状態

操作	ショートカットキー
現在のフォルダ内の未開封メール数の読み上げ	F6 キー
現在のフォルダ内の総メール数の読み上げ	F7 キー
現在のフォルダ内の選択メール数の読み上げ	F8 キー
現在のフォルダの名前の読み上げ	F9 キー

9-3. メール操作(メール一覧リストにフォーカスがある状態で)

操作	ショートカットキー
現在選択されているメールの本文を読み上げる	M キー
現在選択されているメールのメールヘッダを読み上げる	H キー
現在選択されているメールの状態を読み上げる(開封済/未開封・返信済・転送済・添付ファイルあり・リダイレクト済)	S キー

第10章 よくある質問と回答集

1. はじめに

ここでは、お客様より寄せられると想定される質問と、それに対する回答を記載しています。操作方法等でお困りの際にご一読ください。

また、FocusTalk ホームページ上(<http://www.skyfish.co.jp/FocusTalk/faq/faq.html>)では、最新の質問と回答を紹介していますので、併せてご確認ください。

2. よくある質問と回答集

○FocusTalk全般に関する質問と回答

質問 1. FocusTalk Ver2.0 に対応している Windows のバージョンはいくつですか。

回答 1.

32 ビット版の Windows Vista と Windows XP SP2 以降に対応しています。(64 ビット版 Windows Vista と Windows XP には対応しておりません)Windows2000/98/ME については未サポートとさせていただきます。なお、Windows2000 をお使いの方は、FocusTalk Ver1.0 をご利用ください。

質問 2. 音声マニュアルとは何ですか。

回答 2.

FocusTalk の CD のオーディオトラック部分に、本マニュアルの内容を音声で収録したものです。家庭用の CD プレイヤーなどでも、再生が可能です。FocusTalk をインストールする前に確認することをお勧めします。

質問 3. FocusTalk の CD メディアがパソコン上で認識されません。

回答 3.

自動起動の設定が無効になっている可能性があります。
(マイ)コンピュータから CD ドライブを選択し、FocusTalk の CD メディアが認識されているかご確認ください。
常駐ソフトが動作している場合、一旦終了して CD メディアを入れ直して認識するか、ご確認ください。
また、FocusTalk 以外の CD メディアを入れてみて認識するか、ご確認ください。
もし、認識されない場合、CD-ROM ドライブの読み取り部分の不具合(汚れ等含む)の可能性が考えられます。

質問 4. インストールが途中で止まってしまいます。

回答 4.

まず、パソコン、OS が FocusTalk の動作環境を満たしているか、ご確認ください。
動作環境に問題がない場合、他のアプリケーションをすべて終了させて、再度 FocusTalk のインストールを行なってください。

質問 5. 音声 が二重に再生されます。

回答 5.

FocusTalk 以外の音声を出力するアプリケーションが、動作している可能性が考えられます。

Alt + Tab キー等で、他の動作アプリケーションをご確認ください。

また、一部の Web サイトでは、ページの内容を音声で読み上げるものがあります。

その場合も、音声 が二重に再生される場合がありますので、どちらか一方を停止させてください。

質問 6. FocusTalk の音声が出ません。(出なくなりました)

回答 6.

原因 1. Windows のボリュームが小さいか、ミュートになっている可能性があります。

対処 1. ヘッドホンやイヤホン、スピーカの接続状況や、電源が入っているか等をご確認ください。

対処 2. パソコンの種類によっては、本体やキーボード周辺にボリュームコントロールが付いている場合や、あるいはキーボード上のファンクションキーで調整できることがありますので、併せてご確認ください。

原因 2. FocusTalk の音声 が停止状態になっている可能性があります。

対処 1. Shift + Pause キーまたは、Alt + Shift + Pause キーで音声出力が一時中断されていないかご確認ください。

対処 2. Ctrl + Alt + 上矢印キーを数回押して音量を上げることを試し、音声が出るかご確認ください。

対処 3. FocusTalk の設定を初期化してみてください。設定の初期化は Ctrl + Alt + F7 キーです。

質問 7. FocusTalk の設定を初期化するにはどうすればいいですか。

回答 7.

FocusTalk が起動している状態で、Ctrl + Alt + F7 キーを押してください。設定の初期化確認のダイアログが表示されます。そこで「はい」のボタンを選択すると、インストールした状態の初期値に戻ります。

質問 8. 読み上げるアプリケーションは、FocusTalk ホームページに掲載されているものだけですか。また、どういうアプリケーションを読み上げますか。

回答 8.

FocusTalk のホームページ上に掲載されていないアプリケーションでも、標準的な Windows の部品(例: ボタン、リストボックス、チェックボックスなど)で構成されていると、読み上げる場合があります。

質問 9. FocusTalk で設定した内容の保存や、読み込みは可能ですか。

回答 9.

FocusTalk の設定画面から行なうことができます。その詳細な手順につきましては、「3.FocusTalk の基本設定について」の「●設定の読み込み」および「●設定の保存」をご参照下さい。

質問 10. キーボード入力 の情報を読み上げません。

回答 10.

FocusTalk の読み上げ全般設定内のキーボード操作の機能が有効になっているか、ご確認ください。(チェッ

クをオンにしてください)

質問 11. オンライン(インターネット経由)でのユーザ認証を行おうとしましたが、認証できません。

回答 11.

一部のアンチウイルスソフトやパケット監視ソフト、ソフトウェアファイアウォールなど、セキュリティ関連ソフトにより認証サーバへのアクセスが遮断されている可能性があります。また、お使いのパソコンが接続されているネットワーク環境によっても、外部とのアクセスが遮断されてしまう場合もございます。

その場合にはお手数ではございますが、オフライン認証をお願い致します。

詳細については、「**第 3 章 インストール・起動・終了方法について**」の「**手順 6.ユーザ認証について**」をご覧ください。

質問 12. FocusTalk の設定画面から設定ができない、または、設定しても次の起動時に設定が以前の状態に戻ってしまいます。

回答 12.

FocusTalk 体験版、及び、製品版で 30 日間ユーザ認証を行っていない環境では、一部機能が制限されますため、そのような現象が発生します。

FocusTalk 製品版をお使いになられている方は、FocusTalk インストール後、ユーザ認証を行う事により、機能制限が解除されます。

[問題が解決しない場合には、お手数でございますがサポートまでお問い合わせ下さい。](#)

質問 13. 他のスクリーンリーダーと併用できますか。

回答 13.

お使いのパソコンに複数の種類のスクリーンリーダーをインストールすることは可能です。

ただし、同時に起動しますと、ショートカットキーの競合などにより、予期せぬ動作をする場合がございます。その場合、お使いになるスクリーンリーダーではない方のスクリーンリーダーを一旦切って頂き、ご使用になりたいスクリーンリーダーをお使い頂ければと思います。

尚、FocusTalk の起動・終了はショートカットキーで簡単に行うことができます。

・起動: Ctrl + Shift + F6

・終了: Ctrl + Alt + F6。

質問 14. PDF の読み上げを行う際、何か設定は必要ですか。

回答 14.

設定が必要になります。

以下の設定は PDF (Adobe Acrobat もしくは Adobe Reader) を正しく読み上げるために必要なものとなっておりますので、是非ご確認下さい。

以下の手順は、AdobeReader のバージョンが 8 の場合の手順になります。

手順 1. Adobe Acrobat もしくは Adobe Reader を起動する。

手順 2. Alt キーを押し、Adobe Acrobat8 もしくは Adobe Reader8 のメニューにフォーカスを移動する。

手順 3. 左右矢印キーを押し、「文書(D)」メニューに移動し、下矢印キーを数回押して、「アクセシビリティ

設定アシスタント(T)」のところで Enter キーを押す。

手順 4. 「アクセシビリティ設定アシスタント」のダイアログが開くので、上下矢印キーで「スクリーンリーダーのオプションを設定(R)」もしくは「すべてのアクセシビリティオプションを設定(A)」にチェックを入れる。

手順 5. Tab キーを数回押し、「次へ(N)」のボタンへ移動、Enter キーを押す。

手順 6. 画面が切り替わるので、再び N キーを押す。

手順 7. もう一度 N キーを押し、画面を切り替える。

手順 8. 「アクセシビリティ設定アシスタント(画面 4/5)」の画面が表示されるので、上下矢印キーで「現在表示されているページのみを読み上げる(O)」にチェックを入れる。

手順 9. Tab キーを数回押し、「次へ(N)」のボタンへ移動、Enter キーを押す。

手順 10. 最後に Enter キーを押し、設定画面を終了する。

以上の設定を行うことで、より快適に PDF の読み上げを行うことができます。

質問 15. SkyHelper を起動すると、Skype API エラーが発生し、SkyHelper を使用することができません。

※Skype 最新版をご使用の方

回答 15.

Skype 本体と SkyHelper との連携設定において、Skype ver.3.6 あたりから設定手順が大きく変更されています。ここでは、ver.3.8(詳細バージョンは 3.8.0.115)での手順をご説明します。

まず、Skype のアクセシビリティ設定の 1 つである、「拡張キーボードナビゲーション」を有効にする必要があります。この設定を行うことで、Skype のメニュー項目を読み上げるようにします。これから以下の操作は、「拡張キーボードナビゲーション」を有効にする前の操作になるため、メニューが音声化されませんので、ご注意ください。

手順 1. Skype のメイン画面にて Alt キーを押し、右矢印キーを 4 回押し、「表示」まで移動します。

手順 2. 上矢印キーを 2 回押し、「アクセシビリティ」まで移動します。

手順 3. 右矢印キーを 1 回押し、「拡張キーボードナビゲーション」まで移動します。

手順 4. エンターキーを押し、拡張キーボードナビゲーションを有効にします。以上の設定で、メニューの読み上げが行われるようになります。

次に、SkyHelper の連携設定を行います。

手順 1. 設定の前段階としまして、Skype と SkyHelper を起動しておきます。

手順 2. Skype のメニューより、「ツール」-「設定」を選択します。

手順 3. Enter キーを押すと Skype 設定の画面が開きますので、下矢印キーを数回押ししてカテゴリを選択し、「詳細設定」まで移動します。

手順 4. Tab キーを数回押し、「Skype API へのアクセスコントロール」までフォーカスを移動し、エンターキーを押します。

手順 5. 「Skype API へのアクセスコントロール」という画面が開きますので、Tab キーにて「リスト」まで移動します。(通常、Tab キーを 1 回押すことで「リスト」に移動するかと思います。)

手順 6. ここで、この「リスト」は Skype との連携を行うアプリケーションの一覧になるのですが、現時点のバージョンでは、この一覧リストを読み上げることが出来ません。Skype と連携するアプリケーションが SkyHelper のみの場合には、そのまま Tab キーにて「変更」ボタンまで移動し、エンターキーを押してください。連携アプリケーションが複数存在する場合には、お手数ではございますが、晴眼者の方に見ていただき、

リストから SkyHelper を選択し、「変更」ボタンを押してください。

手順 7. 画面が切り替わり、画面内には「このプログラムと Skype との連携を許可する」と、「このプログラムと Skype との連携を拒否する」という 2 つのラジオボタンがあります。初期の設定では「このプログラムと Skype との連携を拒否する」の設定になっていますので、上矢印キーを 1 回押し、「このプログラムと Skype との連携を許可する」を選択し、Tab キーにて「OK」ボタンまで移動し、エンターキーを押してください。

これで、Skype と本ソフトウェアの連携設定が完了します。

質問 16. FocusTalk の読み上げを一時的に停止するにはどうすればいいですか。

回答 16.

ショートカットキー[読み上げの一時停止・再開]: Shift + Pause キー

上記ショートカットキーにより、FocusTalk の読み上げを一時的に停止することができます。再度 Shift + Pause キーを押しますと、読み上げが再開されます。なお、Pause キーの位置は、キーボードにより異なりますので、ご使用になられているパソコンの説明書等をご確認ください。

また、読み上げ途中で音声が出るのを中断させたい場合は、Ctrl キーを押してください。

読み上げが途中で止まります。

○インターネット読み上げ(Internet Explorer7.0)に関する質問と回答

質問 17. Internet Explorer7.0 を起動すると、キー操作が変わりました。どうしてでしょうか。

回答 17.

これは、ホームページ内を細かく読み上げるために、Internet Explorer7.0 の一部のキー操作を一時的に FocusTalk に割り当てているためです。この状態のことを「キー操作モード」と呼んでいます。詳細な設定につきましては、「第 7 章 各種アプリ設定メニューの 詳細について」の「2. Internet Explorer」をご確認ください。

質問 18. インターネットを閲覧しているときに、画像情報を読み上げません。

回答 18.

画像情報に画像の意味を説明するための情報(代替テキスト)がない場合、読み上げることができません。

質問 19. 検索エンジンにある、テキストボックスに直接文字を入力しても読み返しができません。

回答 19.

これは、Internet Explorer7.0 の仕様で読み返しができません。

FocusTalk では、読み返しを行なうために、代替手段を用いて入力を行いません。

設定でキー操作読み上げが有効なとき、テキストボックスにフォーカスを移動し、Enter キーを押すと、読み上げ可能なテキストボックスが開きます。そこに入力したい内容を入れて Enter キーを押してください。

Internet Explorer のテキストボックスにテキストが入力されます。

質問 20. キーワード検索とは、どんな機能ですか。

回答 20.

この機能は、Internet Explorer に搭載されている検索機能を拡張したものです。

読み上げたい内容を検索した後、その部分から読み上げる機能です。

検索した内容が見つかると同時にその位置にカーソルが移動しますので、読み上げたい内容を検索しそこから読み上げるのに大変便利です。

キーワード検索機能は以下のショートカットキーを使用することでお使い頂けます。

- ・検索キーワードに検索文字入力後、該当するキーワードがあった場合、その位置に仮想カーソルを前方移動: Ctrl + Alt + F12 キー

- ・先に入力したキーワードで、前方方向に連続キーワード検索: Ctrl + Alt + Shift + F12 キー

- ・検索キーワードに検索文字入力後、該当するキーワードがあった場合、その位置に仮想カーソルを後方移動: Ctrl + Alt + F11 キー

- ・先に入力したキーワードで、後方方向に連続キーワード検索: Ctrl + Alt + Shift + F11 キー

第11章 謝辞、著作権・商標について

1. 謝辞

●詳細読み辞書(JIS 第一水準、第二水準)について

FocusTalk に搭載されている詳細読み辞書(JIS 第一水準、第二水準)は、数藤康雄様、寺島彰先生(浦和大学)が作成された辞書が元になっています。

●詳細読み辞書「田町読み辞書」(JIS 第一水準、第二水準)について

FocusTalk に搭載されている田町読みの著作権は、「理解しやすい漢字詳細読み」研究グループ(代表: 渡辺哲也様)に帰属します。

●詳細読み辞書(IBM 拡張文字)について

FocusTalk に搭載されている詳細読み辞書(IBM 拡張文字)は、藤沼輝好様(統合システム研究所)が作成された辞書が元になっています。

●音訓読み辞書について

FocusTalk に搭載されている音訓読み辞書は、長谷川貞夫様(日本点字図書館評議員)が作成された辞書が元になっています。

2. 著作権・商標

※Skyfish、FocusTalk、SkyHelper は株式会社スカイフィッシュの商標登録です。

※Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Live、Internet Explorer、Windows Media、並びに Office 製品(Word、Excel、PowerPoint)は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※Adobe、Acrobat、および Reader、Adobe Flash Player は、アドビシステムズ社の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。

※Skype は Skype Technologies 社またはその関連会社の登録商標または商標です。

※FocusTalk の音声読上げ機能には、株式会社アニモの音声合成ライブラリ FineSpeech ver.2 を使用しています。

※FineSpeech は、富士通株式会社の登録商標です。

※製品名および会社名は、各社の商標および登録商標です。

FocusTalk Ver2.0 オンラインマニュアル

2007年1月30日 初版 発行

2008年7月16日 第7版 発行

発行 株式会社スカイフィッシュ

無断転載、複写、引用を固く禁じます